

維持管理・環境管理専門委員会の活動

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

活動報告

- 第46回協議会(平成30年1月10日)以降、会議を2回開催し、維持管理計画検討のための巡視を1回実施しました。
- 第27回(平成30年2月1日)および第28回(平成30年3月12日)の会議では、H30年度の工事内容や維持管理計画、マーケットリサーチ、エコロジカル・ネットワーク等について確認・協議を行いました。
- 第26回(12月1日)の会議結果も第46回協議会で未報告となっていたため、あわせて報告いたします。
- なお、第28回の会議はイベント実行委員会と合同で開催し、維持管理の試行を含むイベント企画について検討しました。
- オブザーバー視察については通路・看板整備後の検討課題となっており、今回の報告はありません。

会議

第26回 平成29年12月1日 9:30~11:30

上尾市コミュニティセンター



第27回 平成30年2月1日 9:30~11:30

上尾市文化センター



第28回 平成30年3月12日 14:30~16:30

上尾市コミュニティセンター



※イベント実行委員会と合同

巡視

平成30年2月6日 9:00~15:00



1) H30年度維持管理計画（案）

1. H30年度維持管理計画（案）

- 12月1日の維持管理・環境管理委員会の検討において、上池旧流路整備地のオオカワヂシャ、モトAのハリエンジュ、モトDのシンジュおよび洪水後の裸地化箇所へのセイバンモロコシの侵入への対策を重点化する必要があるとの意見が出されました。
- これらの意見をもとに、2月1日の維持管理・環境管理委員会にH30年度維持管理計画（案）を提示し、2月6日に巡視を実施しました。この時に出された意見を基に、最終的なH30年度維持管理計画（案）を作成しました。
- 以下にH30年度維持管理内容（案）と、対象箇所の全体位置図を示します。

地区・管理対象		維持管理	実施時期概要	実施方針	
上池	上池旧流路整備地	①呑み口	周辺の除草：毎年5～6月の2回	-	H30は実施なし
		②導水路	通路付近の除草：毎年5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）	-	企業依頼方針 H30は実施なし
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：毎年5月1回	5月	協議会実施
	上池モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草（毎年5～6月、10月）モトA周囲	5～6月、10月	本田航空実施
		⑤柵	周辺の除草：毎年5～6月の2回	-	H30は実施なし
		⑥-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：毎年5月1回	5月	生物調査員が実施
上池モトクロス場跡地整備地	⑥-2 整備地	植生管理（セイタカアワダチソウの除去等）：毎年5～6月と10月	5月 10月*	⑥-3と一体的に管理 協議会実施（委員会主体で平日）	
	⑥-3 整備地	植生管理（オオバタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、 シンジュ、ハリエンジュ 、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：毎年5～6月と10月	モトA・モトD全般等 ※イベント下見時にハリエンジュを伐採（2回目）		
中池	中池河畔林	⑦保全エリア	植生管理（シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採）：毎年5～6月と10月	6月 10月	協議会実施
下池	下池ハンノキ移植地	⑧実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュ、 セイバンモロコシ の除去：毎年5～6月1回	6月 9月	協議会実施 6月はミドリシジミ観察会と同時に実施
全体	維持管理検討のための巡視		巡視ルートを巡視し、維持管理作業の内容を検討する。	2月	協議会実施

※表中：赤文字はH30年度からの維持管理項目、黒文字はH29年度までの実績を継続、青文字は重点候補、緑文字は2/6巡視の意見を踏まえ追加した項目

<H30年度の維持管理計画（案）と対象箇所>

⑥-3 上池モトクロス場跡地A整備地のアレチウリ・セイタカアワダチソウ等
:協議会委員が実施

④ 上池モトクロス場跡地A周辺の管理用通路の除草
:本田航空が実施

⑥-3 モトクロス場跡地A・H25整備地の**ハリエンジュ** (重点対象)
:協議会委員が実施

⑥-2、⑥-3 モトクロス場跡地Dのセイタカアワダチソウ等
:協議会委員、秋のイベント参加者が実施

⑦中池保全エリアの植生管理
:協議会委員が実施

⑥-1 モトクロス場跡地整備地全域のオオカワヂシャの除去等
:生物調査員が実施

③ 上池旧流路整備地の**オオカワヂシャ** (重点対象)
:協議会委員が実施

⑥-3 モトクロス場跡地整備地D (H25-27整備)の**シンジュ** (重点対象):協議会委員が実施

⑧移植したハンノキ・整備地周辺のつる性草本・シンジュ・セイバンモロコシ
:協議会委員、ミドリシジミ観察会参加者が実施

航空写真は地理院地図

※①～⑧:右上の表と対応(ただし①、②、⑤はH30年度の実施なし)

1. H30年度維持管理計画（案）

●H30年度維持管理計画（案）は、前回提示の維持管理計画（案）と2/6巡視時の意見を踏まえ、以下の通り提案いたします。

- 1) 継続して実施している部分はこれまでと同様に継続します。（表の④、⑥、⑧）
- 2) H29年度に課題のあった場所は新規に実施します。（表の③）
- 3) 実施条件が整った場所を新規に実施します。（表の⑦）
- 4) 実施条件が整わない場所は引き続き保留とします。（表の①、②、⑤）
- 5) 2/6巡視時に出された意見を踏まえ、**モトAのハリエンジュの伐採回数を1回増やします（表の⑥）**。また、下池ハンノキ移植地のセイバンモロコシを駆除対象に加え、**ミドリシジミイベント時及び9月の結実前に除草します（表の⑧）**。また、2月の巡視は、オオブタクサとセイバンモロコシの状況を特に注視しながら実施します。

＜H30年度の維持管理計画（案）の詳細＞

地区・管理対象		維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施方針	
上池	上池旧流路整備地	①呑み口	周辺の除草：毎年5～6月の2回		中旬	下旬									H30は実施なし	
		②導水路	通路付近の除草：毎年5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）		●任意					●任意					企業依頼方針 H30は実施なし	
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：毎年5月1回		17日	※冠水している場合は実施不可									協議会実施	
	上池モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草（毎年5～6月、10月）モトA周囲		●任意					●任意						本田航空実施
		⑤柵	周辺の除草：毎年5～6月の2回		中旬	下旬										H30は実施なし
		⑥-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：毎年5月1回		●調査日											生物調査員が実施
		⑥-2 整備地	植生管理（セイタカアワダチソウの除去等）：毎年5～6月と10月	モトD見晴台						11日 イベント 下見時、 ハリエン ジュ伐採 （2回 目）を中 心に委員 が実施						⑥-3と一体的に 管理
⑥-3 整備地	植生管理（オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：毎年5～6月と10月	モトA・モトD全般等	17日											協議会実施 （委員会主体で 平日）		
中池	中池河畔林	⑦保全エリア	植生管理（シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採）：毎年5～6月と10月		27日				13日 実行委 員会主 催イベ ントで 実施						協議会実施	
下池	下池ハンノキ移植地	⑧実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュ、セイバンモロコシの除去：毎年5～6月1回		23日			5日							協議会実施 6月はミドリシジミ 観察を同時に実施	
全体	維持管理検討のための巡視		巡視ルートを巡視し、維持管理作業の内容を検討する。										6日 H31年 度内容 の検討		協議会実施	

※表中 赤字はH30年度からの維持管理項目、黒文字はH29年度までの実績を継続、青文字は重点候補、緑文字は2/6巡視の意見を踏まえ追加した項目

2. 各箇所のH30年度維持管理計画（案）

（1）上池旧流路整備地・モトクロス場跡地整備地A

※表：該当箇所のみ抜粋・10月以降は省略

⑥-3 上池モトクロス場跡地A整備地のアレチウリ・セイタカアワダチソウ等
:協議会委員が実施

④ 上池モトクロス場跡地A周辺の管理用通路の除草
:本田航空が実施

③ 上池旧流路整備地のオオカワヂシャ(重点対象)
:協議会委員が実施

※冠水時は実施不可

⑥-1 モトクロス場跡地整備地全域のオオカワヂシャの除去等
:生物調査員が実施

⑥-3 モトクロス場跡地A・H25整備地のハリエンジュ(重点対象)
:協議会委員が実施

地区・管理対象		維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	実施方針	
上池旧流路整備地	①呑み口	周辺の除草：毎年5～6月の2回		中旬	下旬					H30は実施なし	
	②導水路	通路付近の除草：毎年5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）		●任意					●任意	企業依頼方針 H30は実施なし	
	③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：毎年5月1回		17日	※冠水している場合は実施不可					協議会実施	
上池モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草（毎年5～6月、10月）モトA周囲		●任意					●任意	本田航空実施	
	⑤柵	周辺の除草：毎年5～6月の2回		中旬	下旬					H30は実施なし	
	⑥-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：毎年5月1回		●調査日						生物調査員が実施	
	⑥-2 整備地	植生管理（セイタカアワダチソウの除去等）：毎年5～6月と10月								11日 イベント下見時、ハリエンジュ伐採（2回目）を中心に委員が実施	⑥-3と一体的に管理
	⑥-3 整備地	植生管理（オオバクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：毎年5～6月と10月	モトA・モトD全般等		17日						協議会実施（委員会主体で平日）

【協議会委員が実施】

- 上池旧流路整備地のオオカワヂシャの除去（③重点対象）を5月に実施します。ただし、冠水していた場合は、実施しません。
- モトAの管理用通路の除草（④）は本田航空が5～6月、10月の任意の日を実施します。
- モトAのアレチウリ・セイタカアワダチソウ、ハリエンジュ等の除草（⑥-3）は5月に実施します。
- 重点対象のモトA（H25整備）のハリエンジュについては、2/6巡視時に年2回以上伐採が必要との意見があったことから、10月のイベント下見時に2回目の伐採を提案します。

【生物調査員が実施】

- モトクロス跡地整備地全域のオオカワヂシャの除去等（⑥-1）を5月の植物相調査時に実施します。

※巡視時には、モトA（H23整備地）周辺のクズの対策も必要との意見も出されました。しかし、労力が限られ、外来種のオオカワヂシャやハリエンジュ等の駆除の優先度が高いと考えられます。

したがって、クズの対策については、今後の状況に応じて、対応することを提案いたします。

航空写真は地理院地図

※協議会または生物調査員による維持管理実施箇所を図示

2. 各箇所へのH30年度維持管理計画（案）

（1）上池旧流路整備地・モトクロス場跡地整備地A

●2月6日巡視時の状況



※平成29年5月18日に1度伐採しましたが、約9ヶ月後の平成30年2月6日には3mを超える高さまで成長していました。

2. 各箇所へのH30年度維持管理計画（案）

(2) モトクロス場跡地整備地D

※表：該当箇所のみ抜粋・10月以降は省略



地区・管理対象		維持管理					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	実施方針
上池 モトクロス 場跡地 整備地	④通路	管理用通路の除草（毎年5～6月、10月）モトA周囲							● 任意				● 任意	本田航空実施
	⑤柵	周辺の除草：毎年5～6月の2回						中旬	下旬					H30は実施なし
	⑥-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：毎年5月1回						● 調査日						生物調査員が実施
	⑥-2 整備地	植生管理（セイタカアワダチソウの除去等）：毎年5～6月と10月	モトD見晴台										11日 イベント 下見時、 ハリエン ジュ伐採 (2回目) を中心に委員 が実施	⑥-3と一体的に 管理
⑥-3 整備地	植生管理（オオバタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、 シンジュ 、 ハリエンジュ 、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クス）の除去等）：毎年5～6月と10月	モトA・モトD全般等					17日						協議会実施 (委員会主体で 平日)	

【協議会委員が実施】

- モトD（⑥-2、⑥-3）の維持管理作業を5月と10月に協議会委員主体で実施します。
- 重点対象のモトD（H25-27整備）のシンジュは、2/6の巡視時に生育範囲は限定的であり効率的に駆除可能と考えられたことから、5月の維持管理作業の際は重点的に駆除を実施することを提案いたします。



2. 各箇所でのH30年度維持管理計画（案）

(3) 中池河畔林

※表：該当箇所のみ抜粋・10月以降は省略

地区・管理対象		維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	実施方針
中池	中池河畔林	⑦保全エリア 植生管理（シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採） ：毎年5～6月と10月			27日				13日	実行委員会主催イベントで実施 協議会実施

航空写真は地理院地図



【協議会委員が実施】

- 中池保全エリアの除草を5～6月、10月のイベントで実施します。
- 2/6巡視時には、図中の矢印の箇所は景観が良好であったことから、柵・ベンチ周辺と併せて重点的に除草を実施することを提案いたします。この地点は、通常はアレチウリやカナムグラ等が繁茂するとのご報告が委員の方より寄せられています。

A：景観が良好な箇所

平成30年2月6日
(巡視時)



通常はアレチウリ、カナムグラ等が生育

B：柵・ベンチ

平成30年2月6日
(巡視時)



2. 各箇所でのH30年度維持管理計画（案）

（4）下池ハンノキ移植地

※1 表：該当箇所のみ抜粋・10月以降は省略

地区・管理対象		維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	実施方針
下池	下池ハンノキ移植地	⑧実施計画範囲 移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュ、セイバンモロコシの除去：毎年5～6月1回			23日			5日		協議会実施 6月はミドリシジミ観察を同時に実施



【協議会委員が実施】

- 移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュ、セイバンモロコシを6月と9月に除草します。6月は、ミドリシジミ観察会と合同実施いたします。
- 前回委員会・2/6巡視時に、セイバンモロコシが移植したハンノキ周辺に繁茂しており注視する必要があるとの意見が出されました。このため、この場所のセイバンモロコシも駆除対象とすることを提案いたします。また、結実前に駆除することが有効との指摘があることから、9月（※2）に2回目の駆除を実施することを提案いたします。

※2 農業環境技術研究所HPによればセイバンモロコシが穂をつける時期は8～9月とされています。より適切と考えられる駆除時期（結実直前）についてご意見をお願いいたします。
(http://www.naro.affrc.go.jp/archive/niaes/project/plant_alien/book/index_s/sorghum.html)



H30年度維持管理計画に関する協議会への提案事項

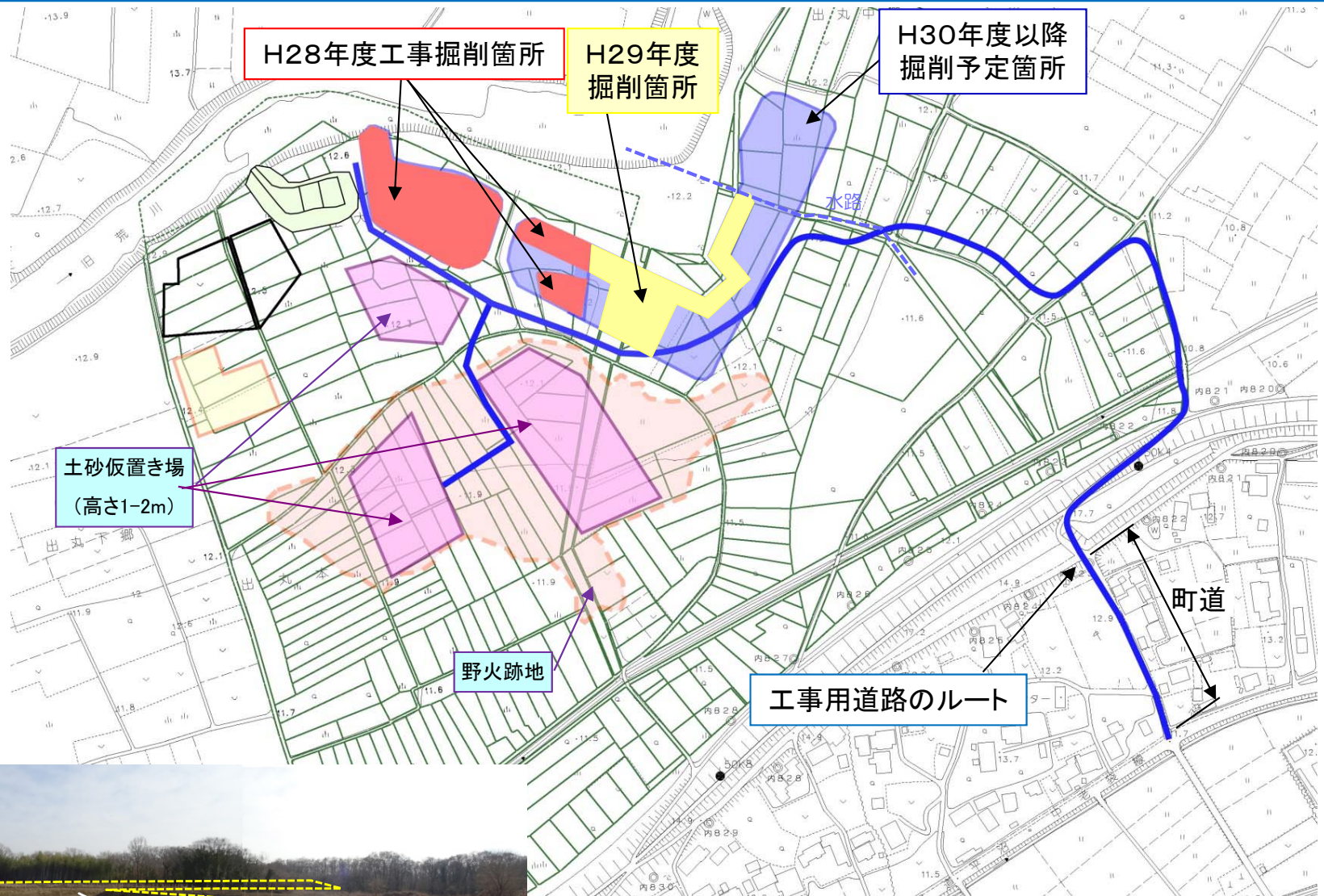
①H30年度維持管理作業は、事務局（案）で実施する。

2) H30年度工事 (案)

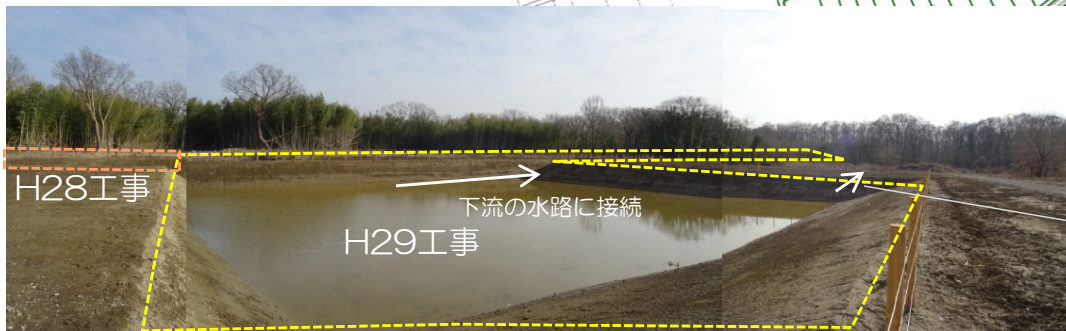
1. 下池の工事について

1. 下池の工事について

- H29年度工事では、水路に接続するよう上流側から掘削を行いました。
- H30年度工事では、持ち出せる土砂の量等を考慮して掘削を行う予定です。



掘削後の状況（1月）



H30年度はH29工事の池を下流側に向けて広げるよう掘削します。

2. 看板の内容について










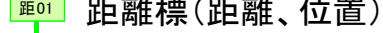
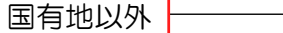




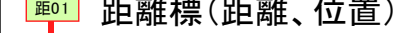
2. 看板の内容について

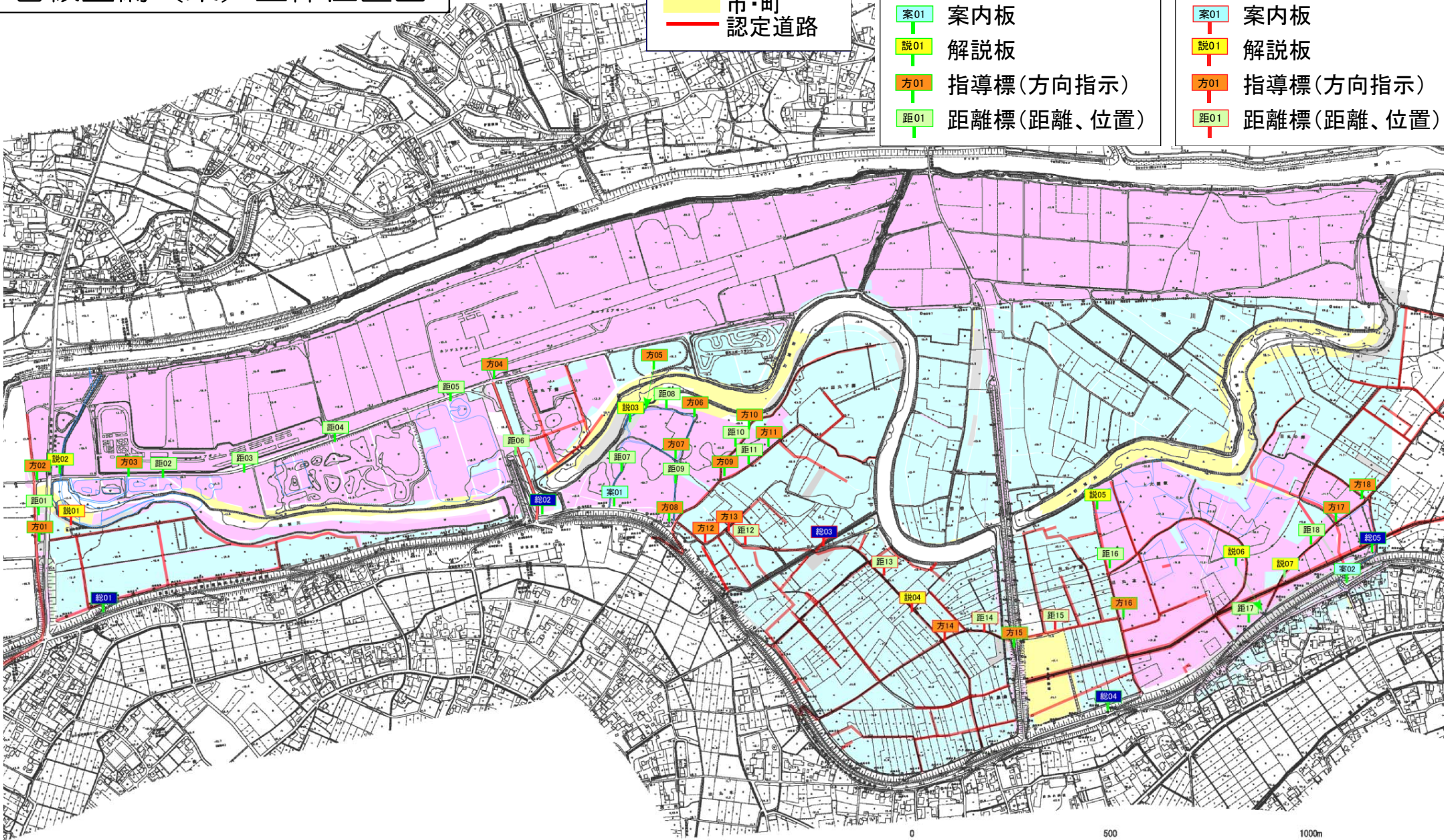
○看板内容に対する意見の対応（案）

日付	会議名	主な意見	対応（案）	備考
1月29日	広報WG	<ul style="list-style-type: none"> 海外の方がリピーターとなれるよう英語を併記する。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板の主な内容を英語併記とします。 	2月1日維持管理環境管理専門委員会報告済み。
		<ul style="list-style-type: none"> 荒川の成り立ちなど、地形や歴史的な説明を情報に加える。場所によっては裏面の活用を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形や歴史的な情報については、中池の解説板・説03（P25昔の姿に一番近い場所）に迅速測図を、下池の解説板・説06（P28）「河川本来のハンノキ林」のタイトルを「冠水場所に成立する河川本来のハンノキ林」に変更して、横堤の説明図を追加します。 荒川の成り立ちなど、地形や歴史的な説明の追加はQRコード対応とします。 	QR対応は、P31～44参照
2月1日	維持管理・環境管理専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> 総合案内板に、エコロジカル・ネットワークの拠点である江川サクラソウトラスト地や三ツ又沼ビオトープに関する位置情報の追加を検討する。ただし、デザイン等の観点で載せるスペースがない場合は、QRコードでWEBページを参照する方法を採用しても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> エコロジカル・ネットワーク等の広域情報については、スペースがないため、QRコードでWEBページを参照する方法で対応します。WEBページの参照は、総合案内版の中でイメージキャラクター「たろうえもん」の吹き出しで、「スマホでQRコードを読み取ると周辺のビオトープ等の位置や、歴史などの詳しい情報が確認できるよ」を追加します（P18）。 	QR対応は、P31～44参照
		<ul style="list-style-type: none"> 下池出口の案内板・案02に三ツ又沼の案内を入れたほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 下池出口の案内板・案02（P22）へ「三ツ又沼ビオトープ1.5km →」を追加します。 	
2月6日	維持管理・環境管理専門委員会（巡視）	<ul style="list-style-type: none"> 解説板（説02）に現在地を追加したほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説板・説02（P24）の呑口と水路の図に現在地を追加します。 	

参考：全体位置図

看板整備（案）全体位置図

	国有地		国有地
	民有地		総01 総合案内板
	市・町		案01 案内板
	認定道路		説01 解説板
			方01 指導標(方向指示)
			距01 距離標(距離、位置)
			国有地以外
			総01 総合案内板
			案01 案内板
			説01 解説板
			方01 指導標(方向指示)
			距01 距離標(距離、位置)



※周辺のビオトープや歴史的な情報は、イメージキャラクター「たろえもん」の吹き出しでQRコードを読み取るように促します。HPであれば、将来的にも情報の更新ができるため、HPで説明することとします。

荒川太郎右衛門地区自然再生事業

Arakawa Tarouemon Area Nature Restoration Project

自然再生事業について

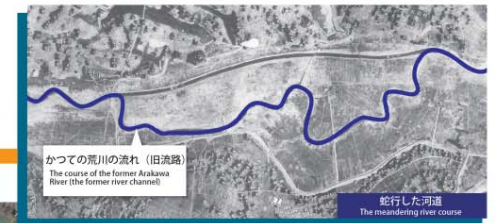
「荒川」は、甲武信ヶ岳に源を発し、秩父盆地・長瀬渓谷を経て関東平野の埼玉・東京の都県境を流れ、東京湾に注ぐ長さ173キロメートルの一級河川で、「太郎右衛門地区自然再生地」はその中流部の桶川市・川島町・上尾市に位置する広大な河川敷です。

「太郎右衛門」の名称は、江戸時代にこの地で渡し船を開業した人の名前とされ、この地域や橋の名称に今も受け継がれています。

「太郎右衛門地区自然再生地」は、かつて行われた河川改修で荒川の本流が直線になったとき、旧流路として残った3つの「池」を中心とした場所です。

しかし、かつて湿地が広がっていたこの場所は、「①冠水頻度の低下や旧流路への土砂堆積等により乾燥化が進んでいる」「②樹林地が高木・壮齢化してしまい河畔の特徴的な姿が失われてきている」という大きな課題があります。

「太郎右衛門地区自然再生事業」は、この太郎右衛門地区で、本来の自然環境を取り戻そうとする「自然再生推進法」(平成14年制定)に基づく事業です。



旧流路の保全・再生 Conservation and restoration of former river channel

旧流路 (上池・中池・下池) の保全再生を目的に、開放水面の創出を図っています。Work is under way to create open water areas with the aim of conserving and restoring the former river channels (Kamikaze pond, Naka-ike pond and Simo-ike pond).



湿地及び止水環境の拡大 Expansion of the wetland environment

上池周辺の高水敷では、地盤の切り下げ等により、湿地及び止水環境の拡大を実施しています。On the flood plain around Kamikaze pond, the wetland and still-water environment is being expanded by lowering the ground level.



河畔林の保全・再生等 Conservation and restoration of riverside forests

高木・壮齢樹林化しているハンノキ等の河畔林においては、間伐、下刈り、剪下け、移植等を行うことにより、多様な樹種の樹木が生育する河畔林を保全・再生します。In riparian forests of tall, mature alder trees, the thinning of the trees, clearance of undergrowth, lowering of the ground level and transplantation of trees will conserve and restore riverside forests that will support trees of



荒川太郎右衛門地区自然再生協議会からのお願い。
自然に配慮した利用をお願いします。

ゴミは持ち帰りましょう
Take your garbage home
请将垃圾自行带回
쓰레기는 다시 가지고 가십시오

危険な行為や他人の迷惑になる行為はやめましょう
Do not commit dangerous acts or bother others
禁止危險動作以及對他人帶來麻煩的行為
위험한 행위나 타인에게 폐가 되는 행위는 하지 마십시오

野生の動植物の採取はしないで下さい
Do not remove fauna or flora
請勿捕捉動物、採集植物
동물들 포획하거나 식물들 채취하지 마십시오

たろえもん (Tarouemon) character and QR code information.

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12
TEL: 049(220)0145 (直通)

1.8km 中池 (Naka-ike pond)
6.3km 下池出口 (Simo-ike pond EXIT)

総合案内板の設置場所の写真

※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

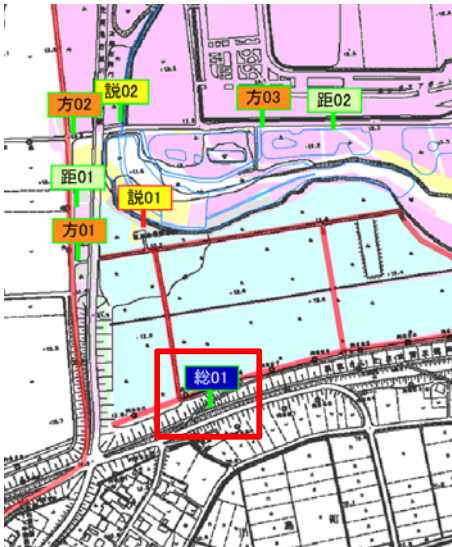
総01 上池堤防上

設置位置写真



平場の奥に設置

設置位置



総02 現看板と入れ替え

設置位置写真



設置位置

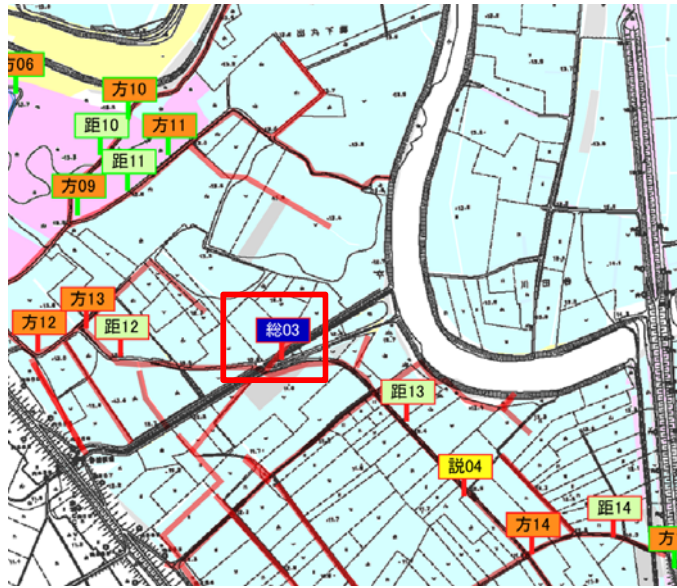


総03 赤城樋管水路横断部

設置位置写真



設置位置



総合案内板の設置場所の写真

※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

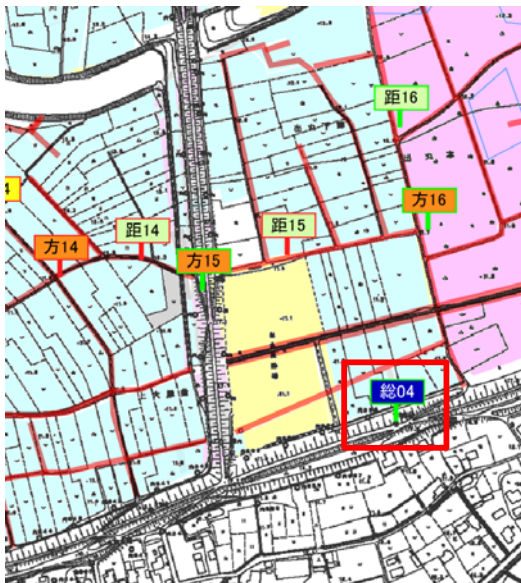
総04

下池堤防上

設置位置写真



設置位置



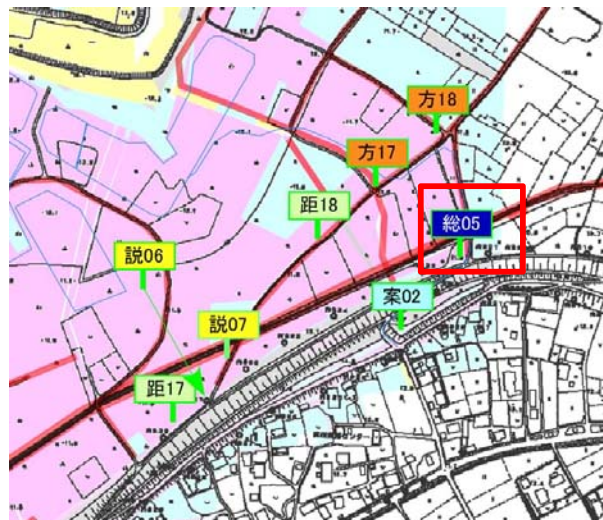
総05

下池堤防下

設置位置写真



設置位置

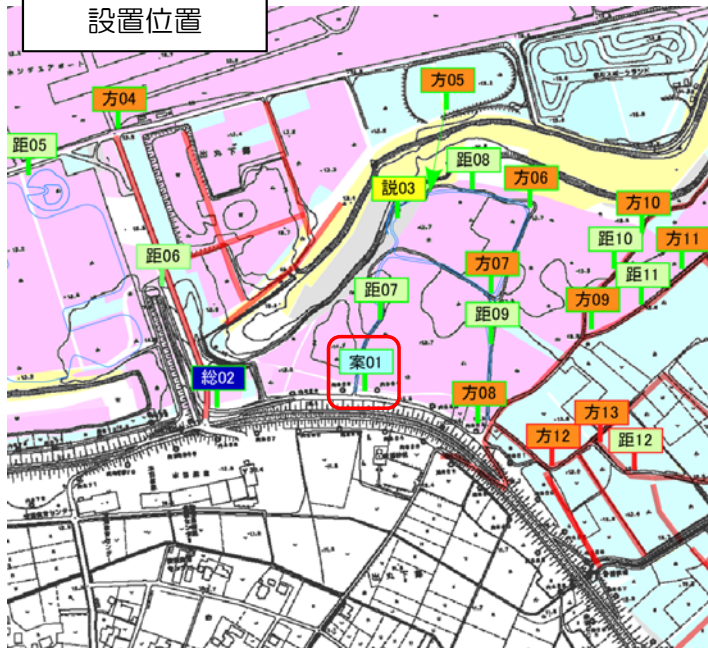


案01のデザイン

設置位置写真



設置位置



※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

使用している航空写真：国土交通省撮影（H19）



中池

Naka-ike pond

荒川太郎右衛門地区
自然再生事業
Arakawa Tarouemon Area
Nature Restriction Project



ルリビタキ
Red-flanked bluetail, *Tarsiger cyanurus*



トノサマバッタ
Locust, *Locusta migratoria*



カイツブリ
Grebe, *Tachybaptus ruficollis*

この付近は、旧流路とその周辺の自然環境の保全の取り組みを行っている場所です。
旧流路沿いにはクヌギ、エノキ、ムクノキ等の河畔林があり、近くの草地も含めて様々な生物が生息しています。

This is an area in which initiatives are underway to conserve the former river channel and the surrounding natural environment.
Along the former river channel there are forests of oak, hackberry and muku trees; these and the nearby grasslands are habitats of a variety of living creatures.

 ゴミは持ち帰りましょう
Please take garbage home
我们拿出垃圾
쓰레기는 가지고 돌아갑니다

 柵をこえて池に近づかない
Do not approach the pond beyond the fence
在柵之外不要接近池塘
울타리를 넘어 연못에 접근하지

 キャンプや炊飯はしない
Do not camp or cook
请不要露营或做饭
캠핑이나 밥술은 하지 마십시오

 動植物の採取はしない
Do not collect flora and fauna
我不会收集动植物
동식물의 채취는 하지

 通路から外に出て草地を荒らさない
Do not leave the aisle and do not ruin grass
不要摧毁不会走出过道的草原
통로 밖으로 나오지 말아라 초원을 망치는구나

 危険な行為や他人の迷惑になる行為はしない
Do not do dangerous acts or other inconveniences
不要做危险的行为或其他不便之处
위험한 행위 나 타인에게 폐가되는 행위는 하지



スマホでQRコードを読み取ることで、周辺のオーストラリアン・ツルギなどの詳細な歴史などの詳しい情報が確認できます。

Scan the QR code with your smartphone to check more information about the location of the grass in the area, history, etc.

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12
TEL: 049(22)0145(直通)

← 550m 上池
Kami-ike pond

2.4km 上池入口
Kami-ike pond ENTRANCE

下池 2.6km
Simo-ike pond

下池出口 3.9km
Simo-ike pond EXIT

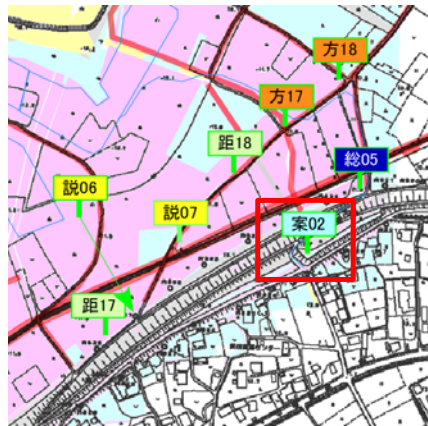
↑

案02のデザイン

設置位置写真



設置位置



※三ツ又沼ビオトープを追記しました。



下池

Simo-ike pond

荒川太郎右衛門地区
自然再生事業
Arakawa Tarouemon Area
Nature Restrastion Project

ようこそ自然再生地へ

Welcome to Nature Restrastion Area

欢迎来到自然游乐场

환영 자연 재생 지로



ハンノキ
Alder, Alnus japonica



ミドリシジミ
Theclinae, Neozephyrus japonicus



ノスリ
Buzard, Buteo japonicus



ホンダタヌキ
Japanese raccoon dog,
Nyctereutes procyonoides viverrinus



スマホでQRコードを読み取る
と、周辺のビオトープ等の
位置や、歴史などの詳しい
情報が確認できるよ。

Scan the QR code with
your smartphone to check
from information about
the location of biotopes in
the area, history, etc.

QRコードを読み取る
と、周辺のビオトープ等の
位置や、歴史などの詳しい
情報が確認できるよ。

QR Code to check
from information about
the location of biotopes in
the area, history, etc.

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12
TEL: 049(220)0145(直通)



1.3km
6.3km

中池
Nka-ike pond
上池入口
Kami-ike pond ENTRANCE

三ツ又沼ビオトープ 1.5km
Mitsumata-numa swamp biotope



※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

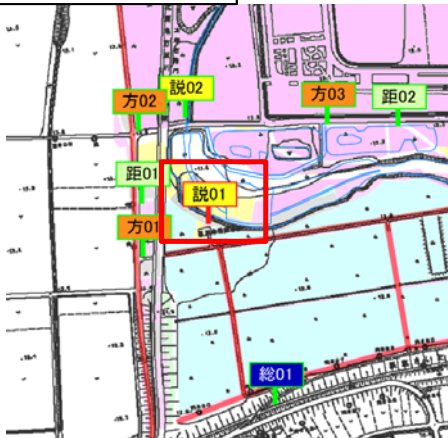
説01のデザイン

※荒川を加えました。
 ※たろえもんの吹き出しを変更しました。

設置位置写真



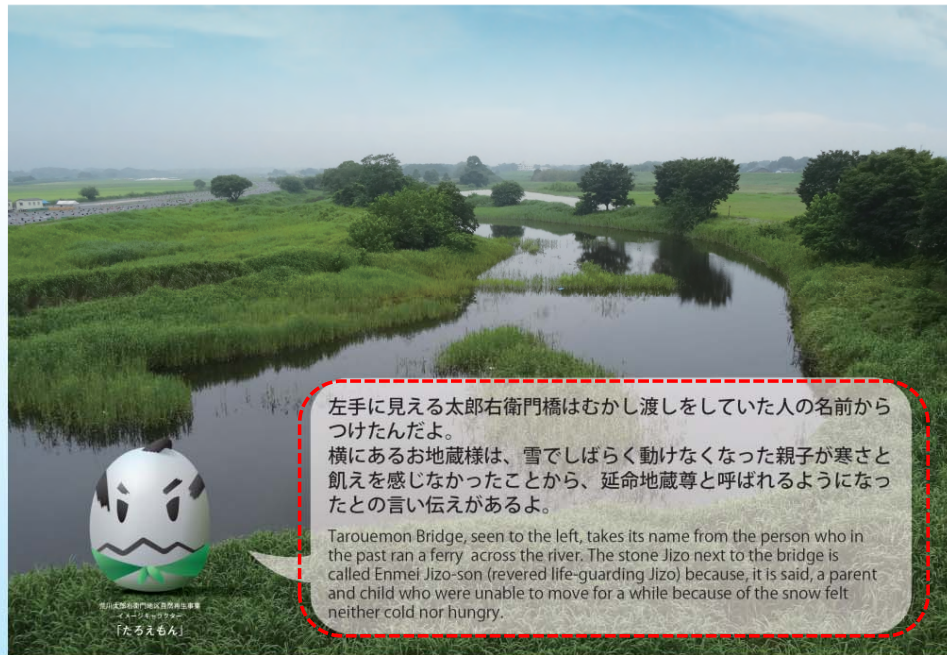
設置位置



※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

旧流路と生き物

Former river channel and living thing



← 1.5km 中池
 5.9km Naka-ike pond
 下池出口
 Simo-ike pond EXIT

荒川太郎右衛門地区 自然再生事業

Arakawa Tarouemon Area
 Nature Restrastion Project

昭和初期の荒川 (旧流路)
 Former Arakawa River

昭和初期は、旧流路が荒川の流れてきた。The Arakawa River flowed in what is now its former channel.

平成10年頃 (旧流路)
 Around 1998(former river channel)

今の荒川 (付け替え) After the former recouping of the river course, the former river channel filled with sediment and became progressively drier.

昭和初期の河道の付け替え後、旧流路に土砂が堆積し、乾燥化が進みました。After the former recouping of the river course, the former river channel filled with sediment and became progressively drier.

平成20年代 (旧流路)
 From around 2008(former river channel)

今の荒川 (付け替え) The accumulated sediment was removed and the former riverbed restored.

カワセミ
 Kingfisher, Alcedo atthis

ミナミメダカ
 Japanese killifish, Oryzias latipes

エキサイゼリ
 Apodactylus japonicus

ニホンアカガエル
 Japanese Brown Frog, Rana japonica

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12
 TEL : 049(220)0145(直通)

上池入口 370m
 Kami-ike pond ENTRANCE

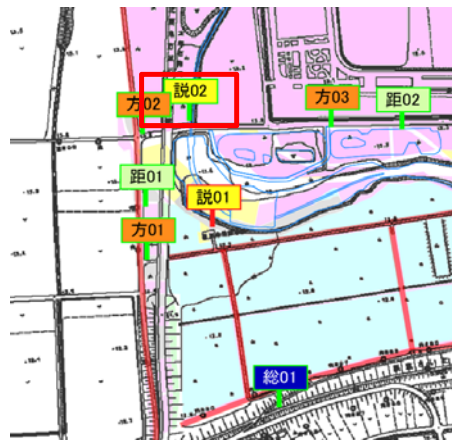
説02のデザイン

※現在地を追加しました。

設置位置写真



設置位置



呑口と水路（旧流路）

Intake and waterway (Former river channel)

荒川太郎右衛門地区 自然再生事業

Arakawa Tarouemon Area
Nature Restoration Project

・既設の水路（標高 AP+10.9m）はそのまま残し、その横に新たな呑口（標高 AP+10.3m）を整備し、増水時における流入頻度の向上を図り、旧流路の水面再生に取り組んでいます。

The existing waterway (elevation AP+10.9m) was left as it was and a new river intake (elevation AP+10.3m) established beside it in an undertaking to attempt to raise the inflow frequency and restore the water surface of the former river channel.

導入路の呑口新設による水面の再生

Restoration of the water surface through the establishment of a new intake on the inflow channel



台風第 18 号 (9/16)

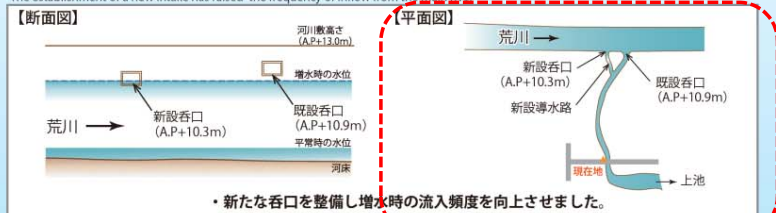


台風第 26 号 (10/16)



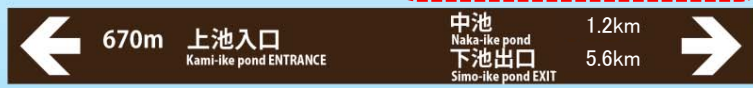
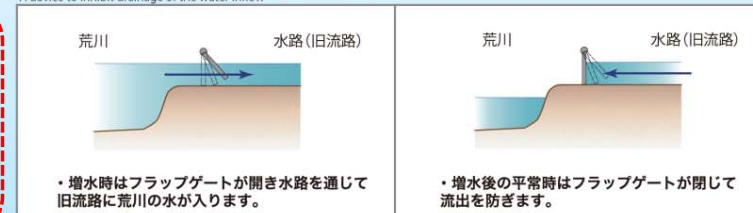
呑口の新設による本川からの流入頻度の向上

The establishment of a new intake has raised the frequency of inflow from the main river



流入した水が抜けにくくするための工夫

A device to inhibit drainage of the water inflow



荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12 TEL : 049(220)0145(直通)

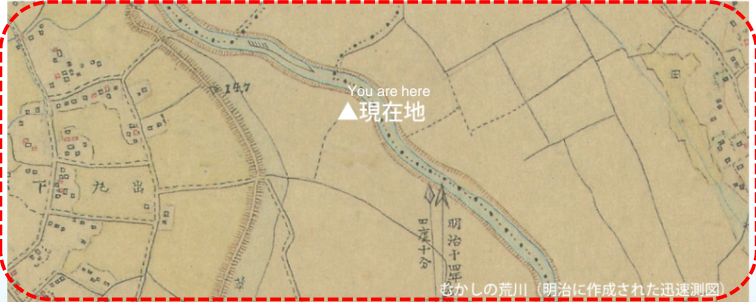
※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

説03のデザイン

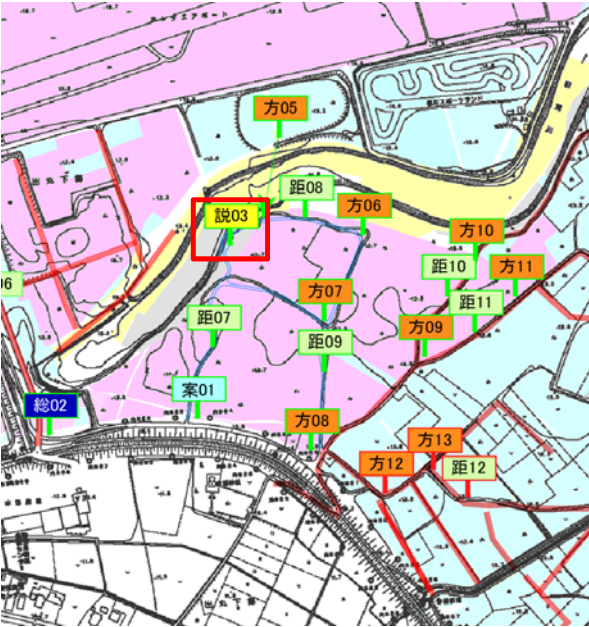
※荒川改修前のものの航空写真がないため、明治の迅速測図に差し替えました。



昔の姿に一番近い場所
The most similar landscape to a past



荒川太郎右衛門地区
自然再生事業
Arakawa Tarouemon Area
Nature Restrastion Project



現在の旧流路は止水の環境となっており、ヒシ、ヨシ、アサザなどの水生・湿生植物や、湿地を好む動物が生息・生育しています。
The current former river channel has become a still-water environment : it provides a habitat for aquatic/wetland plants such as water chestnut, reeds, and floating heart, and for creatures that prefer wetlands.



790m 上池 Kami-ike pond 上池入口 Kami-ike pond ENTRANCE
2.6km
下池 Simo-ike pond 下池出口 Simo-ike pond EX1
2.3km 3.7km

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12
TEL : 049(220)0145(直通)

※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

説04のデザイン

設置位置写真



設置位置



ハンノキの成長と変遷

Growth and transition of alder

荒川太郎右衛門地区 自然再生事業

Arakawa Tarouemon Area
Nature Restroration Project

本来、河川に発達するハンノキ林は、侵食や倒伏により攪乱更新され、新たな萌芽による若齢樹が生育することで種々な世代、それらに応じた様々な生物が生育することにより多様な樹林環境を形成します。ここでは、若齢樹、壮齢樹が混在している景観を見ることができます。

Normally, an alder forest that grows by a river is disturbed and renewed due to erosion and collapse; the growth of young trees due to fresh germination leads to the formation of a diverse forest environment made up of a variety of living creatures that inhabit the different generations of growth. Here we can see a landscape that has a mixture of both young and mature trees.



若いハンノキ
Young alder trees



成長したハンノキ
Mature alder trees



荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12 TEL: 049(220)0145(直通)

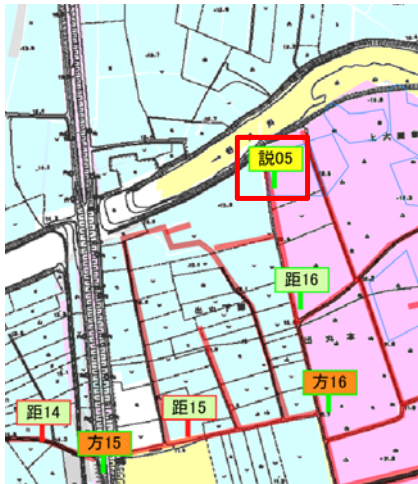


説05のデザイン

設置位置写真



設置位置



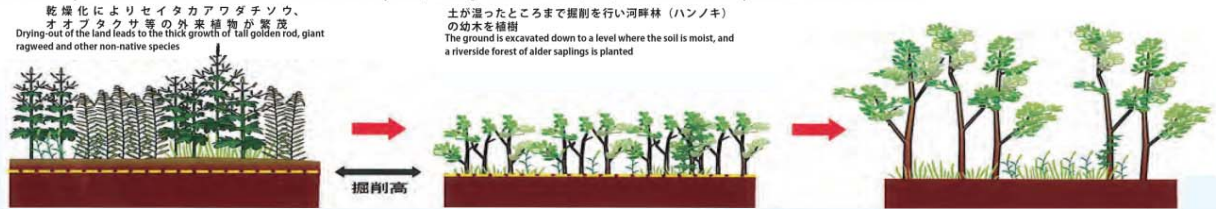
※解説板・説05は、下池の水辺近くに設定していましたが、草に覆われ奥のほうへのアクセスが良くないことから、下池整備地に入るところに変更します。

市民参加によるハンノキ林の保全

Conservation of the alder forest by the civic participation

荒川太郎右衛門地区
自然再生事業
Arakawa Tarouemon Area
Nature Restration Project

乾燥化によりセイタカアワダチソウ、オオブタクサ等の外来種が繁茂していた場所を、湿潤な高さまで掘削を行い、ハンノキの幼木を植樹しました。植樹した場所では、外来種除去、下草刈りなどの保全作業を地域の方々との協働で行っています。
An area that due to drying out had become overgrown with non-native species such as tall golden rod, giant ragweed, etc., was excavated down to a level where there was moisture, and planted with alder saplings. Conservation work in the planted area such as the removal of non-native species, undergrowth clearance, etc., is carried out in cooperation with local residents.



生物多様性を育む河畔林（ハンノキ林）



除去が必要な外来種の例



地域の方々との共同作業



外来種除去、下草刈りなどの
保全作業の実施



上池入口 5.9km
Kami-ike pond ENTRANCE
中池 920m
Naka-ike pond
下池出口 1.6km
Simo-ike pond EXIT



荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12 TEL: 049(220)0145(直通)



※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

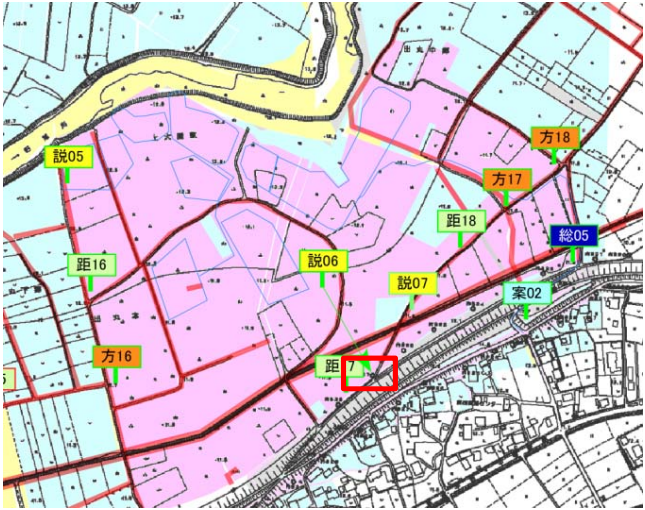
説06のデザイン

※洪水時に水を貯めておく機能をもった場所で、河川本来のハンノキ林が成立することから、タイトルを変更し、横堤の説明を記載することになります。

設置位置写真



設置位置



※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

冠水場所に成立する河川本来のハンノキ林

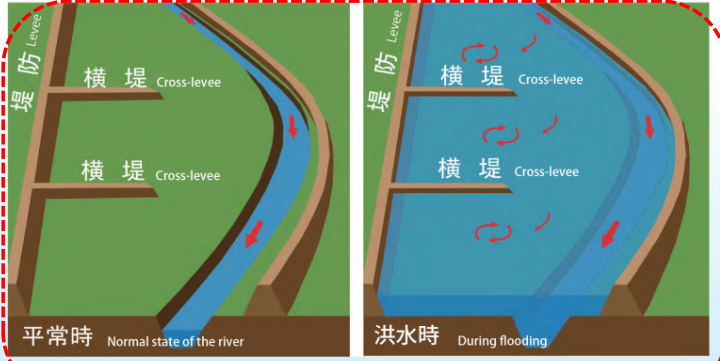
Original river alder forest established in the flooded place

荒川太郎右衛門地区
自然再生事業
Arakawa Tarouemon Area
Nature Restration Project

この辺りは、広い川幅を活かし、洪水の時に水を貯めておく機能を持った場所です。ハンノキ林は、川がはん濫するような場所のできる林で、多くの野生の生き物たちが暮らす場所です。特に、ミドリシジミにとってハンノキは重要で、幼虫は若いハンノキの葉を食べて成長するとわれています。ハンノキ林を保全するためには地下水位の高い湿地がなくならないようにすることが重要です。
This is an area where the width of the river can be used to store water in times of flooding. Alder forests grow in places where rivers tend to overflow, and provide habitats for many different kinds of wildlife. Alder forests are particularly important for butterflies of the family Theclinae, whose larvae feed on the leaves of young alder trees. In order to conserve alder forests, it is important to ensure that wetlands, where there is a high water table, are not allowed to disappear.



生物多様性を育む河畔林（ハンノキ林）



横堤は、下流に流れる水の量を調節し、洪水の勢いを緩めます。
The cross-levees regulate the amount of water flowing downstream and mitigate the momentum of the flood.



ハンノキ林
Alder forest



ミドリシジミ
Theclinae, Neozephyrus japonicus



オナカミズアオ（幼虫）
Actias aliena



ノウルシ
Euphorbia adonochlora



ハンゲショウ
Saururus chinensis



荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12
TEL: 049(220)0145(直通)

← 680m 中池 Naka-ike pond 上池入口 Kami-ike pond ENTRANCE 5.6km

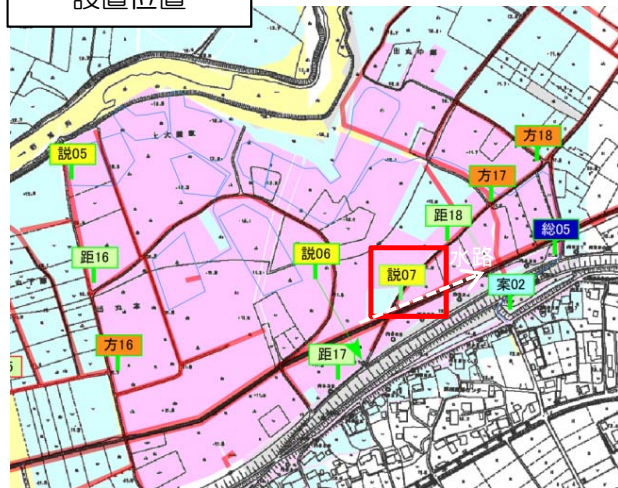
下池出口 660m Simo-ike pond EXIT →

説07のデザイン

設置位置写真



設置位置



※2月6日の巡視時の委員の意見をもとに、水路を渡った右側の設置位置に変更します。
設置に際し、重要な植物の有無を確認した上で設置します。

水路周辺の多様な環境

A variety of environment around the waterside

水路周辺には、休耕田跡地毎に、多様な河畔林の環境が形成されています。やや湿ったところでは、ハンノキやオニグルミが、やや乾燥しているところでは、エノキやクヌギ、ムクノキ等の落葉樹林が育ちます。また、春にはエドヒガンやヤマザクラなどのサクラ類の开花を見ることができます。これら落葉樹林は、多くの鳥類の生活の場となります。

In the area around the waterway, diverse riverside forest environments form in what were once paddy fields. In the somewhat moister areas grow Japanese walnut trees; in the somewhat drier areas grow deciduous forests of hackberry, oak, muku trees, etc. You can also see cherry blossoms of wild species such as Edohigan, Yamazakura, etc., in spring. Deciduous forests provide a habitat for many birds.



ハンノキの葉を食べるミドリシジミやハンノキハムシが生息し、ハンノキの種子を食べるカラ類などの鳥が暮らす場所となっています。また、鳥をエサとするタカ類の仲間も訪れる場所となっています。

This provides a habitat for butterflies of the Theclinae family and for the alder leaf beetle, both of which feed on the leaves of the alder tree; and for birds of tit, which eat the seeds of the alder. The place also attracts hawks and other birds of prey who feed on smaller birds.



荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12 TEL: 049(220)0145(直通)



※看板の位置は今後の検討により変更することがあります。

QRコードによる看板補足説明（案）

- 看板で説明できない内容をWEBで解説するイメージです。
- 現地で、スマホやタブレットなどの小型の画面で見られることを想定し、文字を少なくしました。
- 事務所のHP、もしくは、協議会のHPで掲載することが考えられます。協議会のHPに掲載する場合、管理するメンバーの不在が課題です。

ようこそ、太郎右衛門自然再生地へ！



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

・ 太郎右衛門自然再生地の、最近のトピックスや荒川の成り立ち、治水施設や周辺のビオトープについて、解説するよ。

- ①最近のトピックス！
- ②荒川の流路の変遷
- ③河道の直線化と連続的な堤防の整備
- ④横堤
- ⑤旧流路
- ⑥周辺のビオトープ
- ⑦見ることができる生き物たち

※トピックスは最初は看板設置時の最新のトピックスを掲載し、その後、随時更新。
※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。



①最近のトピックス



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- 4月29日に『かわじま輪中の郷ウォーキング』が開催され、太郎右衛門自然再生地の中を歩くよ。

- 川島町のイベントは、↓で確認できるよ。
<http://www.town.kawajima.saitama.jp/2930.htm>
輪中ウォーキングの開催が近くなったら案内が掲載されるよ。

※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。



①最近のトピックス



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

• 平成30年4月に中池に通路ができたので、歩いてみてね！



※多言語に対応予定です
(英語、中国語、韓国語)。

完成した通路の様子。この先に何かあるか確かめて見てね。



①最近のトピックス（※トピックスが無い平常時版）



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- この場所に関心のある人たちで、より良い場所にするための話し合いをしているよ。

- 話し合いの様子は、↓で確認できるよ。

http://www.ktr.mlit.go.jp/araio/araio_index050.html

http://www.ktr.mlit.go.jp/araio/araio_index051.html

※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。



②荒川の流路の変遷



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- 荒川は人の手により流れが大きく2回変えられたよ。
- 最初は江戸時代に熊谷市の久下地点で元荒川に流れていた河道を、今の荒川の流れ（入間川と合流する流れ）に変えたんだよ。
- この付け替えは荒川の西遷と呼ばれているよ。



※多言語に対応予定です
(英語、中国語、韓国語)。



②荒川の流路の変遷



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- ・2回目は、大きな被害を出した明治43年の洪水を契機として、蛇行した河道の直線化が行われたよ。
このとき連続的な堤防や横堤も整備されたよ。



※多言語に対応予定です
(英語、中国語、韓国語)。

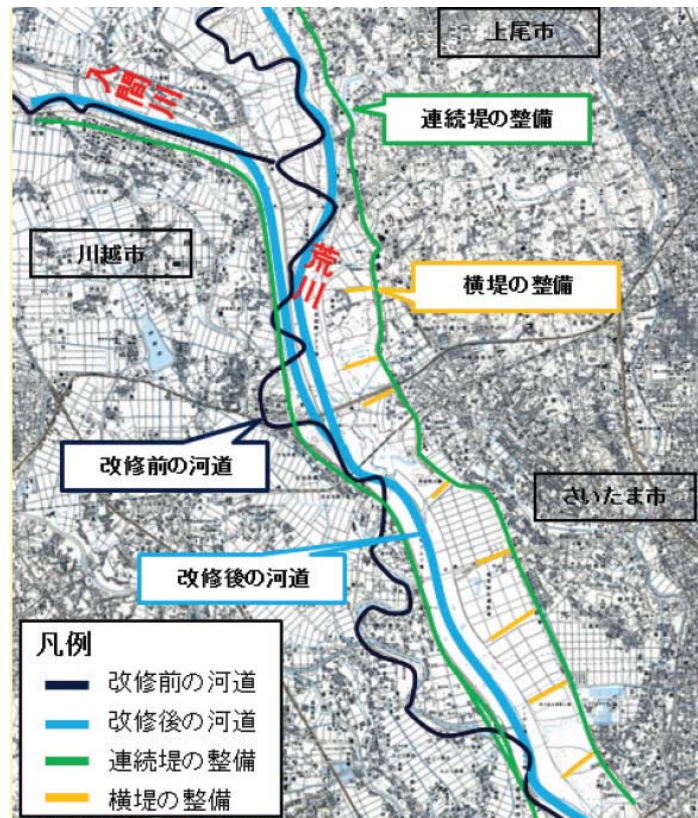


③河道の直線化と連続的な堤防の整備



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- 蛇行していた河道を掘削して直線化したよ。主にそのときの掘削で生じた土砂を使って連続した堤防が造られたよ。
- 広い川幅を生かして横堤も造られたよ。治水効果を高めながら農地を保護する役割があるよ。



※多言語に対応予定です
(英語、中国語、韓国語)。

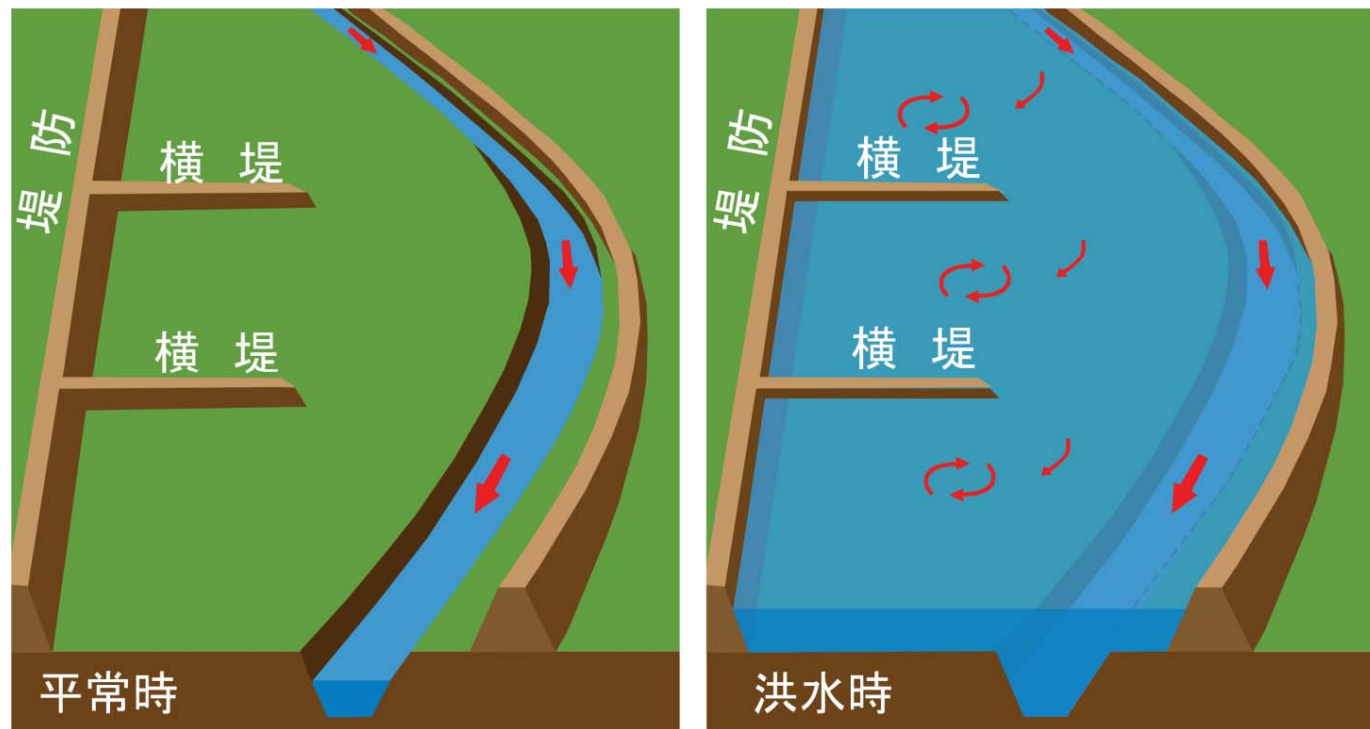


④横堤



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- 荒川では、広い川幅を利用して、洪水の勢いをゆるめる機能をもった『横堤』が整備されたよ。
- 『横堤』は下流へ流れる洪水のピーク流量を少なくする役割をもっているよ。



※多言語に対応予定です
(英語、中国語、韓国語)。



④横堤



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- 横堤は吉見町糠田橋付近から戸田市笹目橋付近の約35キロの区間に、計27箇所（現在は25箇所）設けられたよ。
- 横堤は、治水以外にも道路や鉄道の橋の一部として利用されているよ。



◀吉見町明秋には、規模の大きな横堤が整備されました。改修後には洪水の被害を受けやすい北側を避け、南側を利用した集落が横堤の脇に並ぶことになりました。



◀古名新田の横堤は荒川の右岸堤防からほぼ直角に約1.7キロにわたって築造されました。現在では道路が走り、河川敷は水田や畑、ゴルフ場やグラウンドに活用されています。

※多言語に対応予定です
(英語、中国語、韓国語)。



⑤旧流路

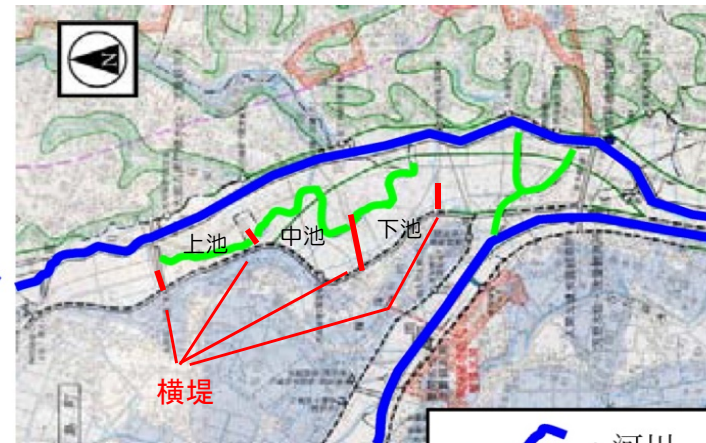


荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

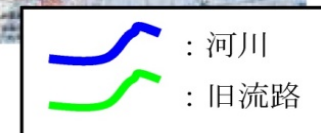
・昭和29年までに蛇行した河道の直線化がおこなわれたよ。上池、中池および下池はむかしの河道だよ。



【明治14年第一軍管地方迅速測図】



【現況河道】



※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。



⑥周辺のビオトープなど



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- 荒川には、太郎右衛門自然再生地などの規模の大きな自然が点在しているよ。
三ツ又沼ビオトープはすぐ近くにあるので、訪問してみてくださいね！



荒川に分布する自然の拠点



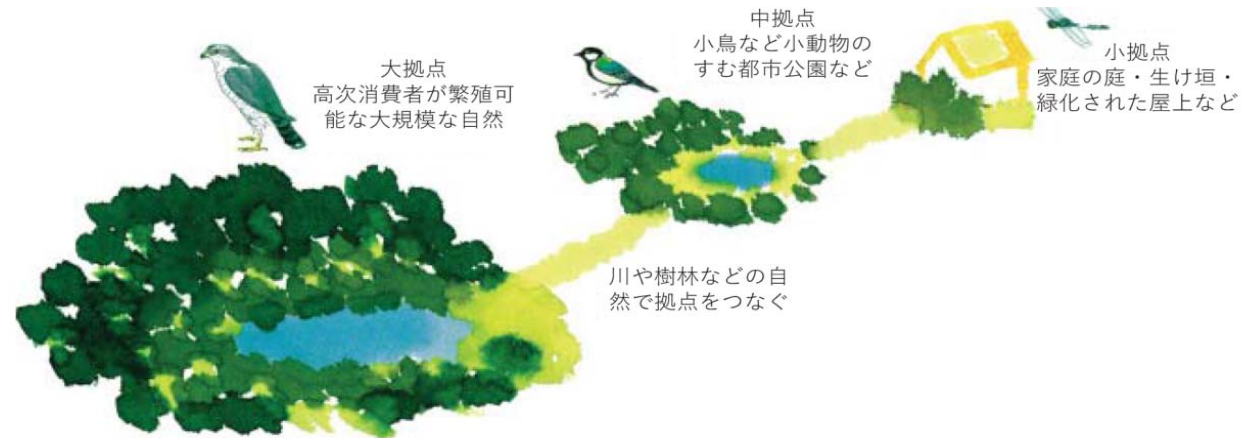
※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。

⑥周辺のビオトープなど



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- ・エコロジカル・ネットワークの形成により、高次消費者が繁殖できる自然を形成できると考えられているよ。



エコロジカルネットワークの考え方

※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。



※このような生物を紹介するページの追加を今後追って検討します。

⑦見ることのできる生き物たち



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

- ミドリシジミとハンノキは荒川を代表する生き物だよ。
- 太郎右衛門自然再生地では、少なくなったハンノキを移植し、ミドリシジミを増やす取り組みを行っているよ。



ミドリシジミは、若齢期のハンノキ林を好むことが知られています。メスは若齢のハンノキに卵を産む傾向があります。幼虫はハンノキの葉を巻いて巣をつくり、葉を食べて成長します。成虫は6～9月に見ることが出来ます。



ハンノキは、氾濫原の湿地や稲作をやめた田んぼに生える高木です。荒川河川敷を代表する種で、松ぼっくりを小さくしたような実がなります。葉がミドリシジミの幼虫の餌になるなど、ハンノキをたくさんの昆虫が利用します。

※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。

※生物の出典：国土交通省荒川上流河川事務所(2003)「荒川の自然図鑑 荒川の植物」
同 (2004)「荒川の自然図鑑 荒川の動物」



これから



荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

これからも、情報を更新してい
くよ。

また、来てね！

※多言語に対応予定です（英語、中国語、韓国語）。

3. 川島町認定道路に設置する看板について

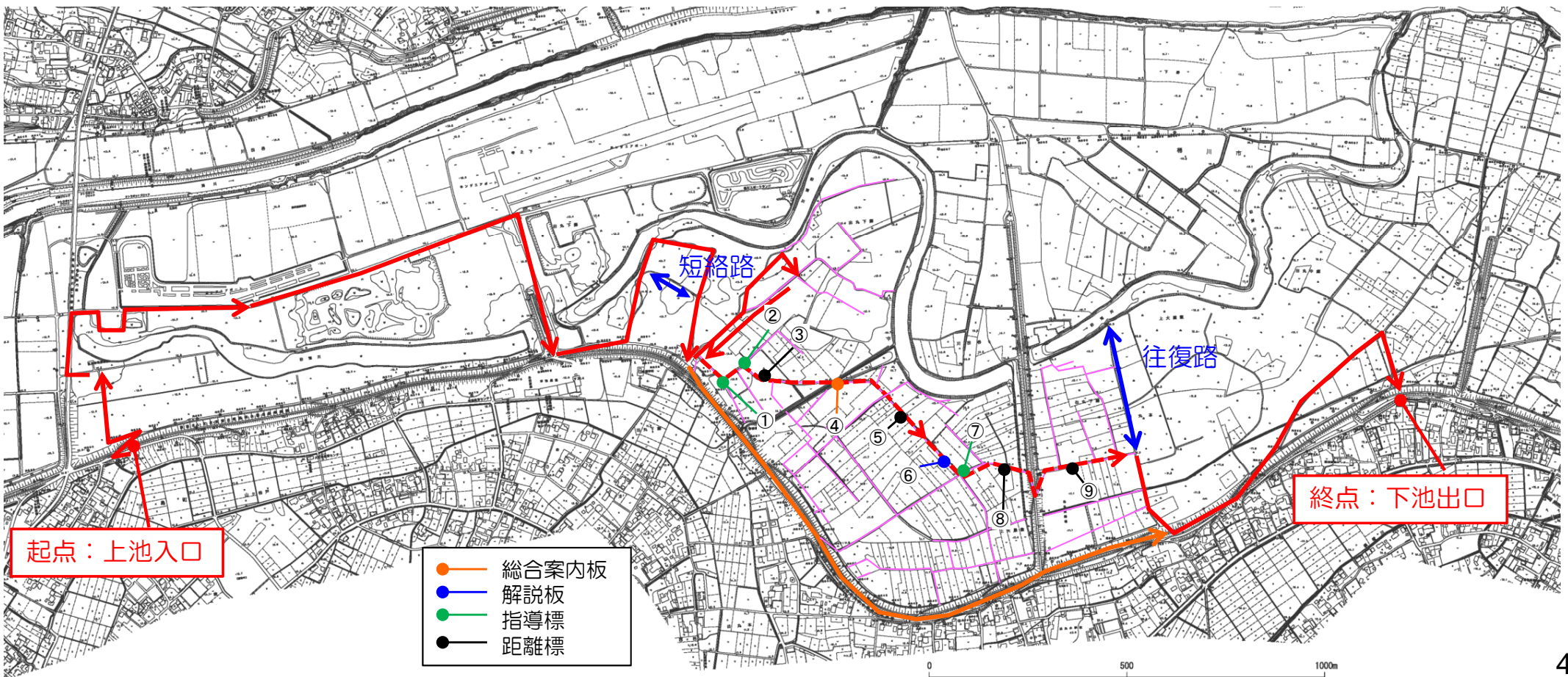
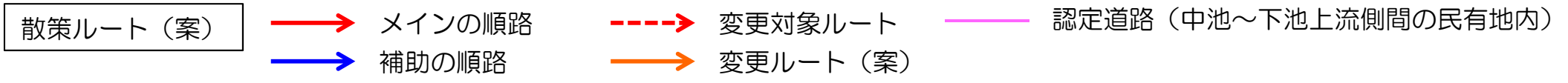
川島町認定道路に設置する看板について

○荒川太郎右衛門自然再生地の中を散策できるよう、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会で検討した「散策ルート（案）」（既存の道路と整備した管理用通路を利用）、「看板設置（案）」について、川島町と協議を行いました。（H30.2.21）

○その結果、現在、認定道路周辺の境界確定が完了していない状況であり、認定道路沿いに看板を設置することは難しいことが確認されました。

○また、認定道路を散策ルートとして利用する場合、見通しが悪い箇所があり、農作業車と散策路利用者との接触の危険性があることや、除草等の維持管理の労力確保が必要であることなど、課題が多いことも確認されました。

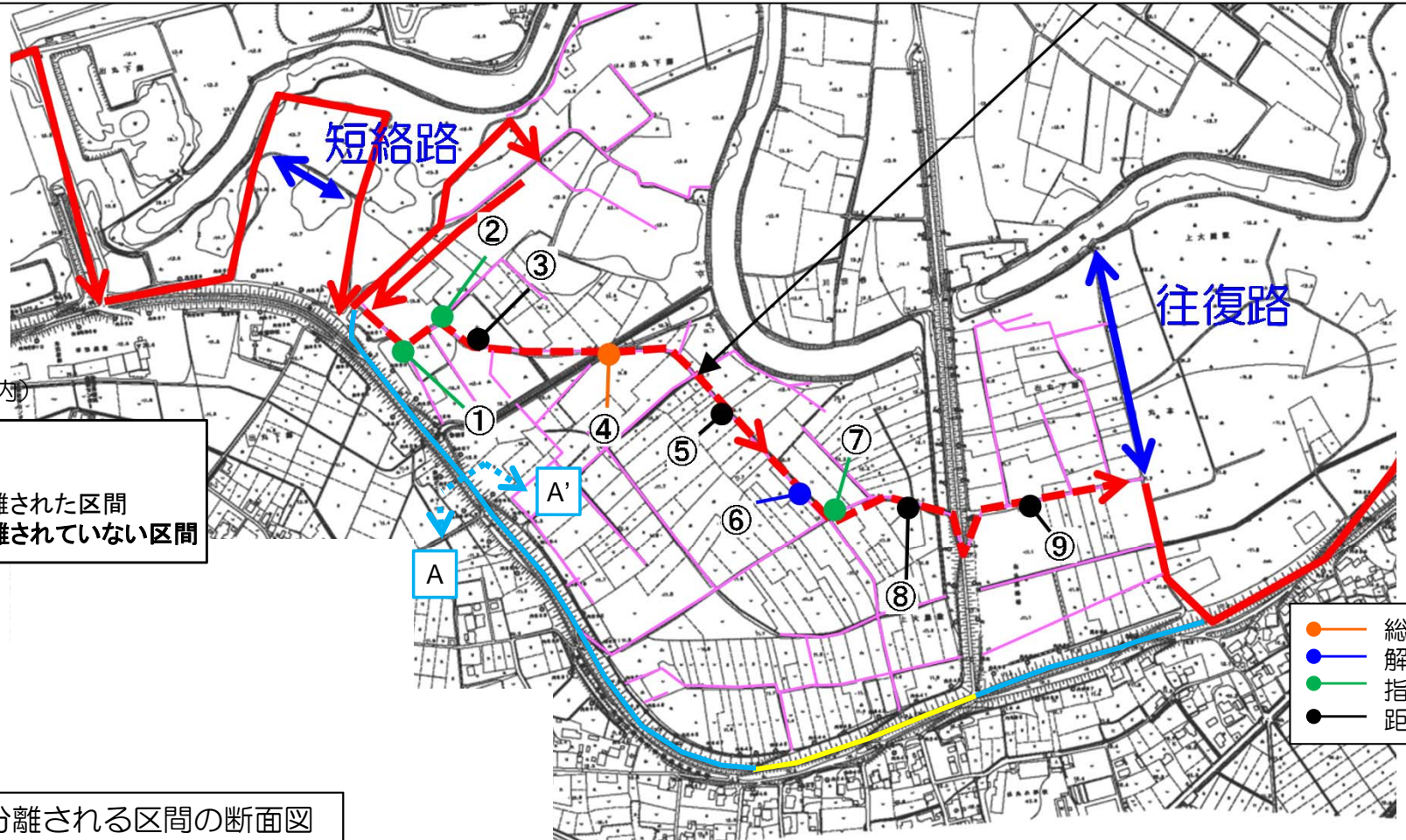
○そのため、認定道路周辺の境界確定が完了するまで、堤防天端を利用する「散策ルート（変更案）」を暫定ルートとして、利用者に周知していくことが望ましいと考えられます。



変更ルート（案）上の自転車の通行について

●変更ルート（案）上に、天端より下にサイクリングロードがあり歩行者と自転車の通行が分離される区間（水色線）と分離されない区間（黄色線）があります。

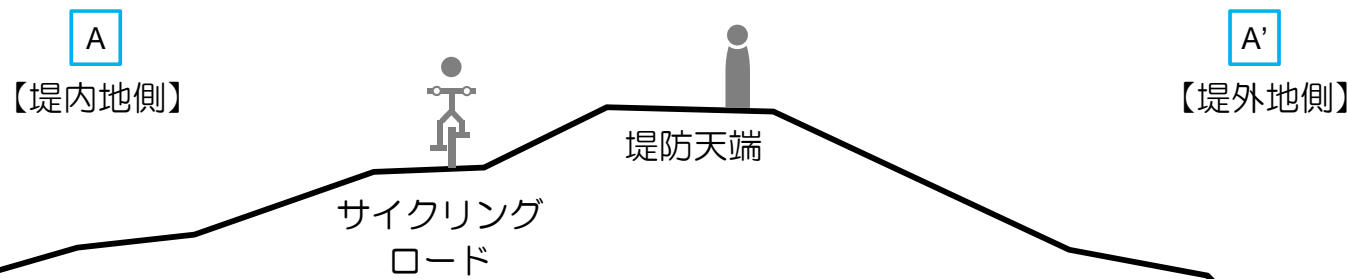
- メインの順路
- 補助の順路
- 変更対象ルート
- 認定道路（中池～下池上流側間の民有地内）



【変更ルート(案)】

- 歩行者と自転車が分離された区間
- 歩行者と自転車が分離されていない区間

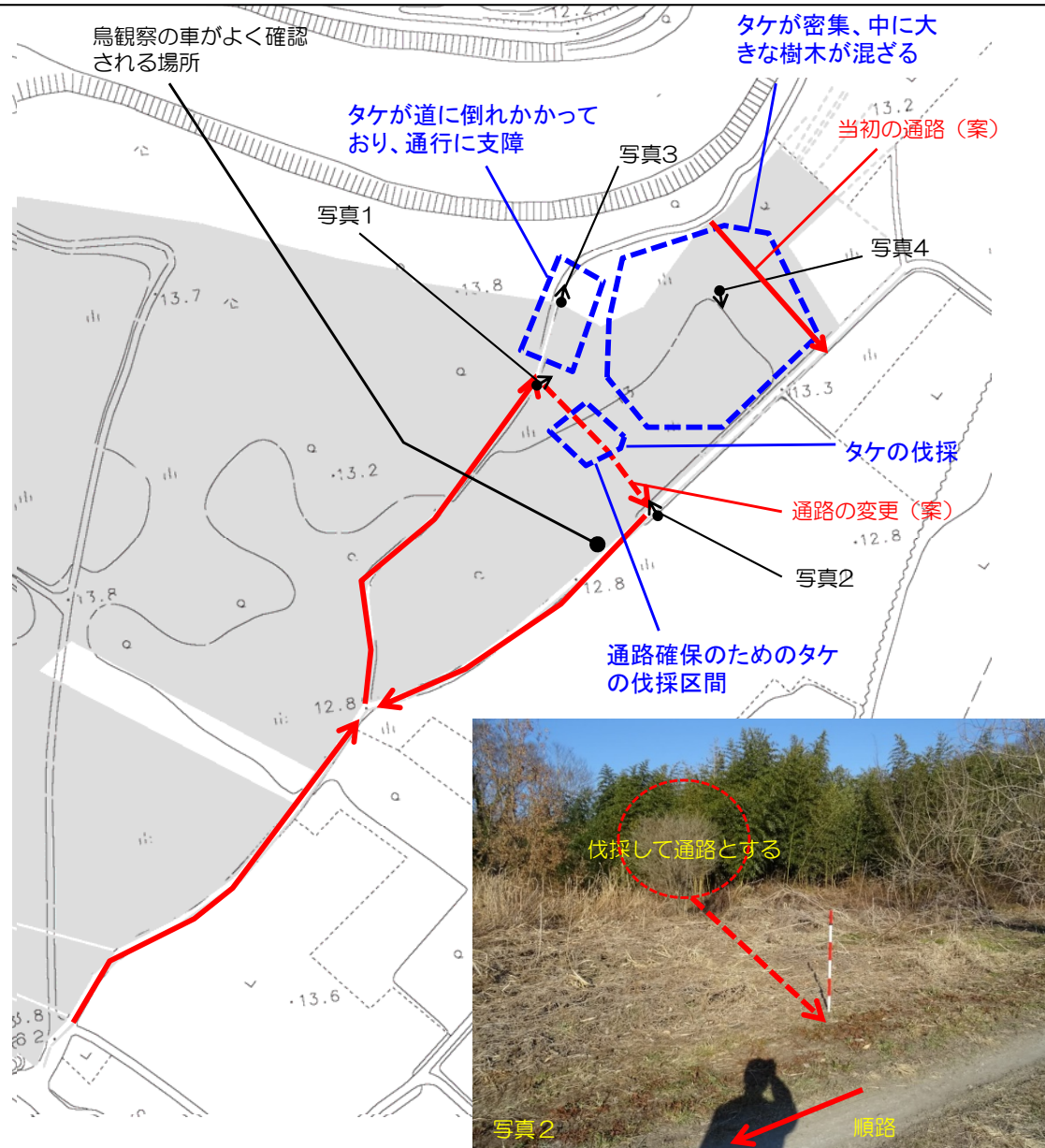
歩行者と自転車の通行が分離される区間の断面図



4. 中池のタケ繁茂区間の通路確保について

中池のタケ繁茂区間の通路確保について

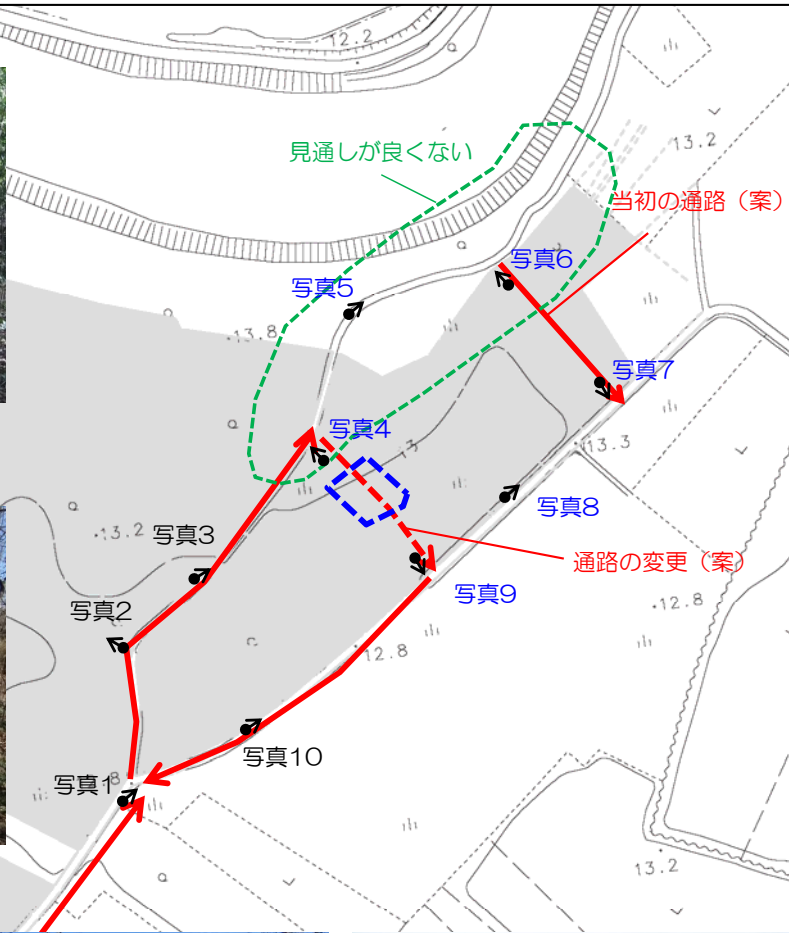
- 中池の認定道路を活用した散策ルート案では、タケを伐採して新たに通路の確保が必要な箇所があります。
- 当初は国有地の奥での連絡を考えていましたが、タケが倒れ通路を塞いでいること、タケ伐採エリアに大きな樹木が混ざることから、タケの伐採エリアが少ない手前の赤点線のルートの方が良いと考えられます。
- これにより、当初設定の通路と比較して約200m短くなります。



中池のタケ繁茂区間の通路確保について

○通路（変更案）までは、タケが少なく見通しが良い状況（写真2、3）ですが、奥の通路（当初案）はタケが密集し（写真5）、周囲があまり見えない状況にあります。また、密集したタケの中に直径50cm以上の樹木が混在しており（写真5）、樹木に配慮した通路設定が必要になります。

○帰りの通路は、車の轍がはっきりした通路で、見通しは通路の当初案、変更案ともに変わらず良い状況です（写真8、10）。



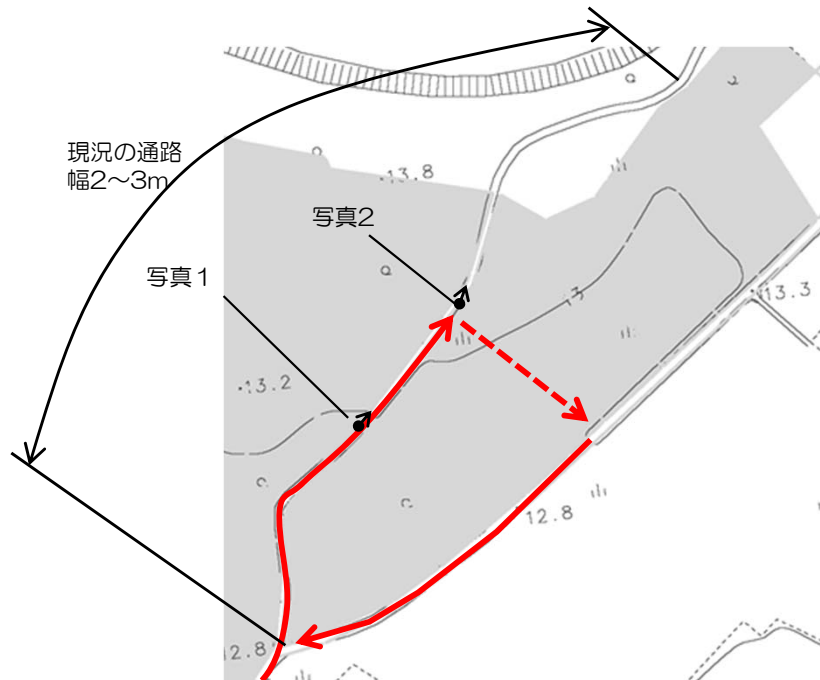
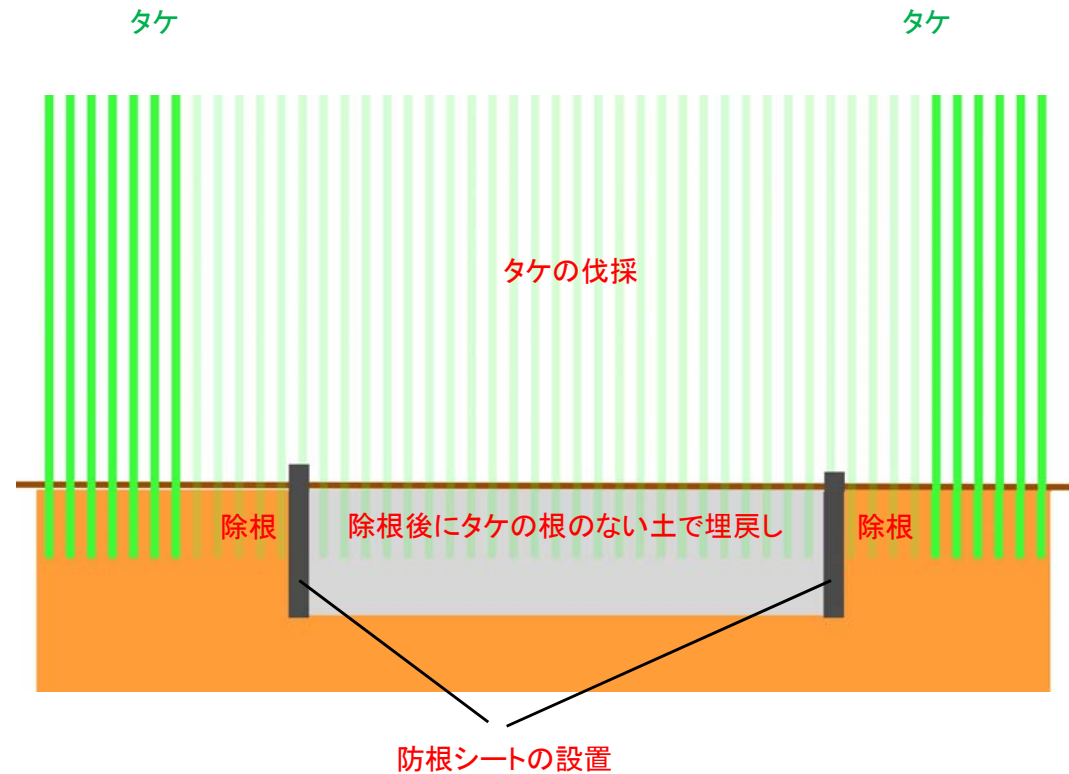
中池のタケ繁茂区間の通路確保について

- 中池の道路の幅はタケが迫るところで2m程度、広いところで3m程度の幅です。
- 新たに確保する通路の幅は、接続する道路幅との連続性を考慮（狭く感じて行きにくくならない幅）として3mとします。
- 通路の延長は約60m、タケ伐採区間の延長は約20m（現地確認）です。
- 通路はタケを伐採・除根し、根のない土で埋戻し、両側にタケの防根シートを設置、舗装しないこととします。

現況の道路(認定道路)



タケを伐採して確保する通路イメージ



H30年度工事に関する協議会への提案事項

- ①下池の掘削工事、看板、中池の夕ヶ繁茂区間の通路については、事務局（案）で進める。
- ②川島町認定道路に看板を設置することは、当面難しいため、堤防天端を利用する「散策ルート（変更案）」を暫定ルートとして利用者に周知していく。

3) エコロジカル・ネットワークの検討状況について

荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動計画 検討の流れ(案)

目的

- ①自然再生事業地の効果的なアピールを図るため「サクラソウ群落」の形成を再生の目標とした活動を推進する
- ②太郎右衛門地区周辺の「江川下流地区」との連携によるエコロジカル・ネットワーク形成に向けた活動を推進する

「サクラソウ群落」の再生を通じたエコネット形成活動展開の基本方針(案)

エコロジカル・ネットワークとしての連携

江川下流 地区

再生対象の植物種・群落について

- ・対象種の選定
- ・生育環境条件の検討

検討済
p.55-56

サクラソウ群落再生への効果的な手順の検討

- ・対象種の移植適正・難易度の検討
- ・効果的な移植手順・手法の検討
- ・効果的な管理・活用の検討

既存活動団体の参加協力

荒川太郎右衛門 地区

再生候補地の抽出

- ・自然条件
- ・アピール性等の社会条件

検討済
p.57

「サクラソウ群落再生適地」選定のための生育環境条件の現地調査の実施

- ・詳細現存植生
- ・土壌水分量
- ・光環境 等

活動目的に応じた複数の「サクラソウ群落再生適地」の決定

結果の反映

多様な主体で構成されるサポーターとの「協働推進体制」の整備

反映

他地域の事例

荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動計画(案)の作成

表 再生対象の湿性植物種の候補(案)

No.	科名	種名	生育環境		花の色	環境省 レッド	埼玉県 レッド
			湿地等	水域			
1	ナデシコ	カワラナデシコ	●		ピンク		VU
2	スイレン	コウホネ		●	黄		NT
3	オトギリソウ	トモエソウ	●		黄		VU
4	トウダイグサ	ノウルシ	●		黄	NT	VU
5	サクラソウ	ノジトラノオ	●		白	VU	EN
6	サクラソウ	ヌマトラノオ	●		白		NT
7	サクラソウ	サクラソウ	●		ピンク	NT	CR
8	ミツガシワ	アサザ		●	黄	NT	VU
9	キョウチクトウ	チョウジソウ	●		淡い紫	NT	EN
10	キキョウ	バアソブ	●		白と紫	VU	EN
11	キク	ホソバオグルマ	●		黄	VU	EN
12	ユリ	コオニユリ	●		赤		NT
13	ヒガンバナ	キツネノカミソリ	●		赤		NT
14	アヤメ	ノハナショウブ	●		紫・紺		VU
15	ラン	ミズチドリ	●		白		CR

・環境省レッド・・・環境省レッドリスト維管束植物(環境省、2017)への掲載状況
 ・埼玉県レッド・・・再改訂・埼玉県レッドリスト2011植物編(埼玉県、2011)の掲載状況
 <レッドデータブックのカテゴリー区分>

CR : 絶滅危惧 I A 類 EN : 絶滅危惧 I B 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧



[1] カワラナデシコ
【県：絶滅危惧Ⅱ類】
砂礫河原や貧栄養な草原に生育する多年草



[2] コウホネ
【県：準絶滅危惧】
水路、池沼などに生える多年草



[3] トモエソウ
【県：絶滅危惧Ⅱ類】
湿地、原野に生える多年草



[4] ノウルシ
【国：準絶滅危惧，県：絶滅危惧Ⅱ類】
湿地や原野に生える春型の多年草



[5] ノジトラノオ
【国：絶滅危惧Ⅱ類，県：絶滅危惧ⅠB類】
土手、やや湿り気のある草地などに生育する多年草



[6] ヌマトランオ
【県：準絶滅危惧】
ヨシ原、河辺、畔など湿地に生育する多年草



[7] サクラソウ
【国：準絶滅危惧，県：絶滅危惧ⅠA類】
湿地や原野に生える春型の多年草



[8] アサザ
【国：準絶滅危惧，県：絶滅危惧Ⅱ類】
湖沼やため池、緩い流れに生育する浮葉植物



[9] チョウジソウ
【国：準絶滅危惧，県：絶滅危惧ⅠB類】
河畔林、オギ原などに生育する多年草



[10] バアソフ
【国：絶滅危惧Ⅱ類，県：絶滅危惧ⅠB類】
湿地や原野に生えるつる性の多年草



[11] ホソバオグルマ
【国：絶滅危惧Ⅱ類，県：絶滅危惧ⅠB類】
自然性の高い湿地に生育する多年草



[12] コオニユリ
【県：準絶滅危惧】
湿った草原に生える多年草



[13] キツネノカミソリ
【県：準絶滅危惧】
土手や樹林内などに生育する多年草



[14] ノハナショウブ
【県：絶滅危惧Ⅱ類】
湿った草原や湿原に生える多年草



[15] ミズドリ
【県：絶滅危惧ⅠA類】
湿性草原に生育する多年草

荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動計画 『サクラソウ群落再生候補地』比較一覧

候補地区	適性条件		現状確認				適性予測					適性評価*		備考
			土地所有		自然再生事業		自然的適性		社会的適性					
	公有地	民有地	整備	非整備	概況植生	植生管理 労力	アピール 性	盗掘可能 性	整備労力	保全整備	活用整備			
1	非表示	●	—	●	—									
2		●	—	●	—	○オギ群落	◎	○	◎	○	—	○	造成草地	
		●	—	●	—	○オギ群落	◎	△	◎	◎	—	○	造成草地 斜面	
		●	—	●	—	○チガヤ群落	○	◎	◎	○	—	○	造成草地小域 見本園として適	
		●	—	●	—	○オギ群落	◎	◎	◎	○	—	◎	造成草地 堤防下	
3		●	—	園路	●	△カナムグラ群落	◎	◎	○	◎	—	◎	荒廃草地	
		●	—	園路	●	△クズ群落	◎	◎	○	◎	—	△	荒廃草地	
4		—	●	—	●	◎ハンノキ林	△	△	△	△	○	—	自然樹林地 調査地として適	
5		●	—	—	●	◎ハンノキ林	△	△	△	△	◎	△	自然樹林地	
6		—	●	—	●	△カワヤナギ群落	◎	×	△	◎	△	—	遷移進行地 調査地として適	

非表示

◎:優/極大 ○:良/大 △:可/中 ×:不可/小

* 活用整備: 来訪者に太郎右衛門地区をアピールすることを目的とした整備適性

保全整備: 減少傾向が著しいサクラソウを始めとした湿性植物群落の保全・再生を目的とした整備適性

群落形成手法: サクラソウ群落等の氾濫原野植物の再生に際しては、適地選定地において、当面、20m × 20m程の方形区を設定し、重点的な植栽や種子散布を行い、育成管理を図りながら徐々に再生地を拡大していくことを想定する。

エコロジカル・ネットワークに関する協議会への提案事項

- ①エコロジカル・ネットワークについては、引き続き、維持管理・環境管理専門委員会で検討を進めていく。

4) マーケットリサーチについて

リサーチ実施状況と予定

●マーケットリサーチの実施状況と予定は以下の通りです。

<リサーチ実施内容（案）> 灰色網掛けは終了

	H28	H29	H30~
内容	本田航空(株) 三井精機工業(株)	エコプロ2017参加企業	<ul style="list-style-type: none"> エコプロ2017で名刺交換した企業・大学には、イベント等の際に案内を送付。CSR責任者と名刺交換を行ったA社については、訪問し活動内容を説明するとともに、同社のCSR活動についてのヒアリングを行う。 エコプロ2018を訪問し、再度リサーチを行う。 川島町役場を訪問し、CSR活動に興味のある企業を探す。
備考	(株)レインボーモータースクールと日之出水道機器(株)はイベントチラシ配布のみ		

<リサーチ対象候補> 灰色文字は終了

	企業	学校	その他
桶川市	—	桶川西高校	商工会 観光協会 農業団体
川島町	本田航空(株) (株)レインボーモータースクール 川島インター産業団地 (株)カインズ 三井精機工業(株) 日之出水道機器(株)	出丸小学校・三保谷小学校	商工会 農業団体
上尾市	上尾領家工業団地 上尾ミニ工業団地 (株)ブリヂストン	—	市自然学習館 商工会 観光協会 農業団体

<リサーチ方法>

- パンフレットを持参し、現地および協議会とその取り組みについて紹介する。
- 以下の事項について聞き取りを行う。
 1. 社会貢献活動等について
 2. 自然環境や野生生物の保全に関わる活動等について
 3. 1や2を行う上での条件や課題、希望について
 4. 荒川太郎右衛門地区自然再生事業について
 5. その他

リサーチ実施状況と予定

(1) エコプロ2017で訪問した企業へのアプローチ

- 昨年12月7日のエコプロ2017訪問の際、太郎右衛門地区の維持管理にすぐにご協力頂けるというご回答は得られませんでした。しかし、A社のCSR担当者の方と名刺交換し、協議会の活動について説明を聞いていただけるとのご回答をいただきました。
- 同社は、森林を2箇所所有しており、飲料の水源地確保のための「森作り活動」等を通じてCSR活動を行っています。
- 同社のCSR担当者の方を訪問し、太郎右衛門地区と維持管理内容等について説明し、さらにA社の詳細なCSR活動の内容や課題・ノウハウをお聞きすることを提案いたします。

説明事項の例	ヒアリング事項の例
<ul style="list-style-type: none"> • 自然再生事業について • 維持管理作業の内容 • 協力頂ける方や企業を集めるための取り組み • 年間スケジュール 	<ul style="list-style-type: none"> • 活動の詳細 • 参加者について（ボランティアか社員か等） • 参加者を集めるための取り組み • 活動を進めていく上での課題やノウハウ

<A社取り組み>

【場所】	群馬県内
【面積】	約9ha
【活動内容】	<ul style="list-style-type: none"> • 10数回実施 • 獣害防止活動 • 林内管理（下草刈り、除伐、林内清掃等） • 植樹
	など

リサーチ実施状況と予定

(2) エコプロ2018の訪問

- 2018年12月6～8日にエコプロ2018が開催されますので、再度、訪問することを提案いたします。なお、12月8日は中池散策と写真撮影会を予定しているため、訪問する場合は12月6、7日のうちいずれか1日になります。
- 第46回協議会（1月10日）では、企業や大学に対して具体的な活動内容等を提示することが必要との意見が出されました。次回訪問する際は、維持管理に参加頂く場合の「具体的な作業内容」や「研究材料としての可能性」を、企業・大学へ示します。

<エコプロ2018の開催概要>

【日時】 2018年12月6日（木）～8日（土） 10:00～17:00

【会場】 東京ビックサイト 東ホール

【出典規模】 650社・団体 / 1,450小間（見込み）

【来場者数】 170,000人（見込み）

出典：<http://eco-pro.com/2017/outline/000763.html>

リサーチ実施状況と予定

(3) 川島町の企業へのアプローチ

- 川島町は太郎右衛門地区に最もアクセスしやすいため、再度、川島町内の企業へ維持管理作業への参加をお願いしていきます。
- その足がかりとして、川島町役場を訪問し、産業団地や商工会等の関係者の方（※）をご紹介いただくことを提案いたします。
- 紹介いただいた方を訪問し、その方を通じてCSR活動に関心のある川島町の企業との接点を得て、維持管理作業への参加をお願いすることを想定しています。

※工業・産業団地にはとりまとめ役の方がいらっしゃる想定されます。

<再掲：リサーチ対象候補> 灰色文字は終了

	企業	学校	その他
桶川市	—	桶川西高校	商工会 観光協会 農業団体
川島町	本田航空(株) (株)レインボーモータースクール 川島インター産業団地 (株)カインズ 三井精機工業(株) 日之出水道機器(株)	出丸小学校・三保谷小学校	商工会 農業団体
上尾市	上尾領家工業団地 上尾ミニ工業団地 (株)ブリヂストン	—	市自然学習館 商工会 観光協会 農業団体

リサーチ実施状況と予定

(4) 平成30年度マーケットリサーチ計画（案）

- A社、川島町役場への訪問は維持管理作業・イベントが無い8月に実施します。訪問のための調整は7月頃に行います。
- 川島町役場から産業団地等の関係者の方を紹介いただけた場合、関係者の基本情報を収集・確認した上で、秋イベント終了後の11月頃にその方を訪問します。
- エコプロ2018に、12月6、7日のうちいずれか1日に参加します。
- イベント時には、エコプロ2017で名刺交換をした企業・大学へチラシ送付を行います。

※イ：イベント、維：維持管理作業

	スケジュール											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
維持管理作業 ・イベント	イ：7日(土) イ：29日(日)	イ：13日(日) 維：17日(水) イ：19日(土) イ：26日(土)	イ：2日(土) イ：16日(土) イ：23日(土) 維：27日(水)			維：5日(水)	維：11日(木) イ：13日(土)	イ：23日(金) ・祝	イ：8日(土)		維：6日(水)	
マーケットリ サーチ				●A社調整 ●川島町役 場調整	●A社訪問 ●川島町役 場訪問			●川島町の 産業団地等 関係者訪問	●エコプロ 2018 6、7日のい ずれか			

参考：リサーチ結果（報告済み分）

リサーチ対象	実施概要	結果	備考
本田航空(株)	平成28年9月30日 出席者：川島副委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ① 本田航空は、地域の行事に参加したり、美化活動を行ったりして、地域との良好な関係を保つ活動をこれまで実施してきている。 ② 飛行場管理の一環で年間を通して日常的に草刈りを実施しているため、荒川の河川敷を占有して利用している者として、また協議会の一員として、事業による整備地の通路等の定型的な草刈り行為の協力は可能である。 	除草の協力については、実施時期や、実施方法について、ある程度まかせていただくと協力しやすい。
三井精機工業(株)	平成29年1月16日 出席者：川島副委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ① 現状では、会社としての協力はすぐには難しい。 ② 社員へのイベントチラシの配付については協力する。 	

参考：リサーチ結果（報告済み分）

リサーチ対象	実施概要	結果	備考
エコプロ2017 参加企業	平成29年12月7日 出席者：堂本委員長 川島副委員長 菅間委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ① すぐに協力いただける企業等は見つからなかった。 ② 自然地を所有して生物多様性という切り口で動いている企業のCSR責任者と名刺交換を行った。協力を頂くということでは無いが、取り組みの参考事例として紹介をして頂ける可能性があることが確認出来た。 ③ 上記を含め、13の企業と2つの大学の関係の方と名刺交換を行った。 ④ 協力を得られる企業や大学が関東近辺にある可能性はあると考えられた。 	名刺交換先以外についても、多くの出展者を訪問した。

訪問し名刺交換をした企業

企業・大学名	名刺交換	備考
三井住友フィナンシャルグループ	○	住友三井オートサービス
三井住友信託銀行/日本生態系協会/日本ナショナル・トラスト協会	○	堂本委員長知己
大日本印刷	○	
イオン	○	イオン環境財団
積水化学工業	○	
大王製紙	○	
ブリヂストン	○	
本田技研工業	○	
SUBARU	○	
マツダ	○	
三菱自動車工業	○	
王子グループ	○	
味の素グループ（味の素/味の素AGF/J-オイルミルズ/味の素冷凍食品/ヤマキ）	○	
立教大学ESD研究所	○	堂本委員長知己
大正大学	○	堂本委員長知己



名刺を交換した企業に関しては、イベント等の際にお知らせをお送りします。

訪問のみの企業（名刺交換はせず）

企業・大学名	名刺交換	備考
エネテック		
太平洋セメント		
JFEグループ		
新日鉄住金グループ		
日本テクノ		
YKKグループ		
帝人グループ		
コスモエネルギーホールディングス(コスモ石油)		
東洋紡グループ		
三菱ケミカルホールディングス		
大和ハウスグループ		
クラレ		
リンナイ		
IHI		
三菱電機グループ		
パナソニック		
ライオン		
ユニ・チャーム		
凸版印刷		
富士ゼロックス		
花王		
タカラトミーグループ		
日本製紙グループ		

企業・大学名	名刺交換	備考
国際紙/パルプ商事		
日本紙パルプ商事グループ		
デュプロ		
NGP日本自動車リサイクル事業協同組合/NGP		
SGホールディングスグループ(佐川急便)		
NTTドコモ		
日本郵政グループ		
エプソン		
リコー		
コニカミノルタ		
キャノン/キャノンマーケティングジャパン		
トンボ鉛筆		
バンダイナムコグループ		
山崎製パン		
千葉商科大学		
東京農業大学農学部(森田ゼミ)		
武蔵野大学環境プロジェクト		
千葉大学園芸学部緑地環境学科		
城西国際大学 環境社会学部		
生態工房		

マーケットリサーチに関する協議会への提案事項

- ①エコプロ2017で名刺交換した企業・大学には、イベント等の際に案内を送付する。
- ②CSR責任者と名刺交換を行ったA社については、A社を訪問し協議会の活動内容を説明するとともに、同社のCSR活動についてのヒアリングを行う。
- ③エコプロ2018を訪問し、再度、リサーチを行う。
- ④川島町役場を訪問し、CSR活動に興味のある企業を探す。
企業へ提案する活動内容としては、中池管理用通路の富士山が見える箇所¹の維持管理作業等が挙げられる。